magicolor® 2550
リファレンスガイド

A00V-9571-00K
1800822-014A

登録商標および商標

KONICA MINOLTA 、KONICA MINOLTA ロゴおよび PageScope は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標および商標です。magicolor は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標および商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本プリンタに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響について、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやド

キュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。

5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全て KMBT 及びそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全てのソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT 及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT 及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

Adobe 社カラープロファイルについて

Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）
カラープロファイル使用許諾契約書

ユーザー様への注意：本契約書をよくお読みください。本ソフトウェアの全部または一部を使用した場合、本ソフトウェアのすべての諸条件ならびに本契約書のすべての諸条件を受諾したものと見なされます。本契約書の条件に同意できない場合は本ソフトウェアの使用をおやめください。

第 1 条　定義

本契約書において「Adobe 社」とは、合衆国デラウェア州法人 Adobe Systems Incorporated（345 Park Avenue, San Jose, California 95110）を意味します。「本ソフトウェア」とは、本契約書が添付されたソフトウェアならびにその関連品目を意味します。

第 2 条　ライセンス

ユーザーが本契約書の諸条件に従うことを条件として、Adobe 社は本ソフトウェアの使用、複製、公での展示を行うライセンスを全世界的、非排他的、譲渡不能、ロイヤルティ不要のものとしてユーザーに許諾します。さらに Adobe 社は、（a）本ソフトウェアがデジタル画像ファイルに埋め込まれた状態であり、しかも（b）スタンドアローン・ベースである場合に限り、本ソフトウェアを配布する権利をユーザーに許諾します。それ以外の場合には本ソフトウェアを配布することはできません。たとえば、何らかのアプリケーションソフトウェアに組み込まれている状態やそうしたソフトウェアにバンドルされている状態では、本ソフトウェアを配布することはできません。個々のプロファイルは、いずれも ICC プロファイル記述文字列によって参照されている必要があります。ユーザーは本ソフトウェアを改変してはいけません。Adobe 社は本ソフトウェアまたはその他品目のアップグレードや将来のバージョンなど、本契約に基づいて何らかの支援を提供する義務を一切負いません。本ソフトウェアの知的所有権に関するいかなる権原も、本契約の条項に基づいてユーザーに移転することは一切ないものとします。ユーザーは本契約に明示的に定められている権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も取得しないものとします。

第 3 条　配布

ユーザーが本ソフトウェアを配布する場合、以下を了解した上で配布を行ったものと見なされます。すなわち、その配布（ユーザーによる本第 3 条の不履行を含み、かつそれに限定されない）に起因して何らかの賠償請求、訴訟、その他の法的措置が行われ損失、損害、費用が発生した場合、それに対してはユーザーが抗弁を行い、損失を補填し、Adobe 社を完全に保護することにユーザーが同意したと見なされることになります。またユーザーが本ソフトウェアをスタンドアローン・ベースで配布する場合、ユーザーは本契約またはユーザー自身の使用許諾契約の諸条件に基づいて配布を行うものとし、この場合におけるユーザー自身の使用許諾契約は、（a）本契約の諸条件を遵守している、（b）明示的にせよ黙示的にせよ、すべての保証および条件付与を有効に排除している、（c）損害に対するすべての責任を Adobe 社に代わって有効に排除している、（d）本契約と異なるすべての規定は、Adobe 社ではなくユーザーが単独で提供するものであることを明記している、（e）本ソフトウェアがユーザーまたは Adobe 社から入手可能であることと、ソフトウェアの交換に一般に用いられている媒体で本ソフトウェアを入手する妥当な方法とを記述している、ものでなければなりません。配布する本ソフトウェアには、Adobe 社の著作権表示を、Adobe 社がユーザーに提供した本ソフトウェアにおけるのと同様に行う必要があります。

第 4 条　保証の排除

Adobe 社は本ソフトウェアを「現状のまま」ユーザーに使用許諾しています。したがって本ソフトウェアが特定目的に適合しているかどうか、あるいは特定の結果を生み出すことができるかどうかについて、Adobe 社は一切の表明を行いません。また Adobe 社は、本契約に起因する損失または損害、あるいは本ソフトウェアまたはその他資料の配布または使用に起因する損失または損害について、一切の責任を負わないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、ユーザーが本ソフトウェアを使用した場合のパフォーマンスまたは結果について一切保証しません。ただしその居住地域においてユーザーに適用される法律が排除または制限を禁じている保証、条件付与、表明、約定については、その限りではないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、制定法、普通法、慣習法、慣行その他いかなる法的根拠に基づくかを問わず、また明示的であるか黙示的であるかを問わず、第三者の権利の不侵害、完全性、品質に対する満足、特定目的への適合性などを含みかつそれに限定されず、一切の保証、条件付与、表明、約定を行いません。ただしユーザーは、法域によって異なるその他の権利を保有する場合もあります。第 4 条、第 5 条、第 6 条の規定は、いかなる原因で本契約が終了したにせよ、その終了後も効力が継続するものとします。ただしこの規定は、本契約の終了後も本ソフトウェアを継続使用する権利を黙示するものではなく、またそうした権利を設定するものでもありません。

第 5 条　責任の制限

Adobe 社またはそのサプライヤは、ユーザーがこうむった損害、請求、費用、派生的損害、間接的損害、付随的損害、利益の喪失、貯蓄の喪失に対して、いかなる場合もその責任を負わないものとし、たとえ Adobe 社の代表者がそうした損失、損害、請求が発生する可能性や第三者による請求の事実を助言されていた場合であっても、責任を負わないものとします。以上の制限および排除の規定は、ユーザー居住地の法律上許容される限度で適用されるものとします。本契約に起因または関連して Adobe 社またはそのサプライヤが負う賠償責任の総額は、本ソフトウェアに対し支払いが行われた金額を上限とします。ただし Adobe 社の過失または不法行為（詐欺）によって生じた死亡または傷害については、本契約のいかなる規定によっても、Adobe 社がユーザーに対して負う責任は制限されません。Adobe 社がサプライヤに代わって行為するのは、本契約の規定のとおりに義務、保証、責任を排除、除外、制限することが目的である場合に限られており、それ以外の場合または目的でサプライヤのために行為することはありません。

第 6 条　商標

Adobe および Adobe のロゴは、合衆国およびその他の国における Adobe 社の商標または登録商標です。参照のために使用する場合を除き、Adobe 社による別個の書面による許可を事前に得ていない場合には、ユーザーは上記の商標あるいは Adobe 社のその他の商標またはロゴを使用することはできません。

第 7 条　期間

本契約はその終了まで効力が存続するものとします。ユーザーが本契約の規定遵守を怠った場合、Adobe 社はただちに本契約を終了させる権利を有します。そうした契約終了時には、ユーザーはその占有下または管理下にある本ソフトウェアの全体コピーおよび部分的コピーのすべてを、Adobe 社に返却しなければなりません。

第 8 条　政府規制

本ソフトウェアの一部が合衆国輸出管理規則その他の輸出に関する法律、制限、規制（以下「輸出法」という）において輸出規制品目と認められた場合、ユーザーは自身が輸出規制対象国（イラン、イラク、シリア、スーダン、リビア、キューバ、北朝鮮、セルビアなど）の国民ではなく、しかもそれらの国に居住していないこと、さらに、ユーザーが本ソフトウェアを受領することが輸出法に基づく何らかの理由で禁止されているのではないことを、表明および保証する必要があります。本ソフトウェアを使用する一切の権利は、本契約の諸条件の遵守を怠るとただちに失われるという条件に基づき提供されています。

第 9 条　準拠法

本契約は、カリフォルニア州内でその住民同士が締結、履行する契約に適用される法律など、カリフォルニア州で施行されている実体法に準拠し、それに基づいて解釈されるものとします。本契約には、いかなる法域の抵触法の原則も、あるいは「国際物品売買契約に関する国連条約」も適用されないものとし、それらの適用を明示的に排除します。本契約に由来、起因、関連して発生したすべての紛争は、合衆国カリフォルニア州サンタクララ郡において解決を図るものとします。

第 10 条　一般条項

Adobe 社による事前の書面による同意がある場合を除き、ユーザーは本契約に基づいて得た権利または義務を譲渡することはできません。本契約のいかなる規定も、Adobe 社、その代理人、その被用者の側のいかなる行為または黙認によっても放棄されたと見なされることはないものとしますが、正当な権限を有する Adobe 社社員が署名を行った法律的文書による場合にはその限りではないものとします。本ソフトウェアに含まれるその他の合意と本契約とで異なる言語が用いられている場合、その他の合意における条項を適用します。ユーザーまたは Adobe 社が弁護士を雇用し、本契約に依拠または関連する権利の実現を図った場合、勝訴当事者は妥当な弁護士費用を回収する権利を有するものとします。ユーザーは、本契約を読み了解したこと、さらに本契約がユーザーと Adobe 社との完全で排他的な合意であり、ユーザーに対する本ソフトウェアの使用許諾に関し、口頭または書面によって以前に両者間で成立したあらゆる合意に優先するものであることを認めるものとします。正当な権限を有する Adobe 社社員が書面に署名を行い、Adobe 社が明示的な同意を示している場合を除き、本契約における条項のいかなる改変も Adobe 社に対して効力を持たないものとします。

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.0）

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.0）は、ICC プロファイル規格に準拠したデバイスプロファイルで、東洋インキ製造株式会社が作成した標準オフセット印刷のプロファイルです。

「東洋インキ標準色コート紙」とは

東洋インキ製造株式会社の枚葉インキを用い、東洋インキ製造株式会社が標準と考えるオフセット枚葉印刷の再現色を、コート紙への実機印刷により定めたものです。「東洋インキ標準色コート紙」は日本国内におけるプロセスカラー印刷の色標準である「Japan Color」に準拠しています。

必要システム構成

ICC プロファイルを使用するカラーマネージメントシステムを持つシステムまたはアプリケーションが必要です。

東洋インキ標準色コート紙プロファイルの使用条件および注意事項

1. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用して再現されたコンピュータビデオシミュレーションの色やカラープリンター等により出力された色は、「東洋インキ標準色コート紙」と必ずしも一致するものではありません。
2. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用し、または使用できなかったことにより生じた一切の損害に関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる責任も負いかねます。
3. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルの一切の著作権は東洋インキ製造株式会社が所有しており、東洋インキ製造株式会社の事前の書面による許可無く、本データを譲渡、提供、転貸、頒布、公開せず、第三者に使用させることもできません。
4. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルに関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる問い合わせも受けかねます。
5. ドキュメント中に記載されている会社名、製品名は、関係各社の商標または登録商標です。

本プロファイルは、東洋インキ製造株式会社が GretagMacbeth 社製ソフトウエア ProfileMaker を使用して作成し、頒布に関して GretagMacbeth 社の許諾を得ています。

OpenSSL Statement

OpenSSL License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:

Original SSLeay License

もくじ

1 Mac OS X での使い方 19
プリンタドライバの動作環境 20
プリンタドライバのインストール 21
magicolor 2550 プリンタドライバのインストール 21
プリンタ設定ユーティリティ 25
USB 接続の場合 25
ネットワーク接続の場合 27
Bonjour 設定 27
AppleTalk 設定 30
IP プリント設定（IPP 設定 / ポート 9100 設定 /LPD 設定）........ 32
オプションの設定 37
ページ設定画面の設定 39
ページ属性メニュー 40
カスタム・ページ・サイズメニュー 41
プリント画面の設定 42
プリント設定のメニュー 42
共通のボタン 43
印刷部数と印刷ページメニュー 44
レイアウトメニュー 45
スケジューラメニュー 46

用紙処理メニュー 47
ColorSync メニュー 48
表紙メニュー 48
エラー処理メニュー 49
給紙メニュー 49
印刷品質の設定メニュー 50
印刷品質の設定（詳細）／イメージ 51
印刷品質の設定（詳細）／グラフィックス 52
印刷品質の設定（詳細）／テキスト 53
印刷品質の設定（詳細）／シミュレーション 54
サプライのレベルメニュー（Bonjour のみ）..........55
一覧メニュー 55
トラブルシューティング 56

2 Mac OS 9 での使い方 59
プリンタドライバの動作環境 60
プリンタドライバのインストール 61
セレクタでのプリンタの選択 63
デスクトップ・プリンタ Utility からプリンタを選択する 65
ページ設定ダイアログの設定 68
ページ属性メニュー 68
カスタム用紙サイズメニュー 69
プリント画面の設定 71
プリント設定のメニュー 71
共通のボタン 73
一般設定メニュー 73
カラーマッチングメニュー 74
バックグラウンドプリントメニュー 75
ファイルとして保存メニュー 76
フォント設定メニュー 76
レイアウトメニュー 77
作業記録処理メニュー 78
表紙メニュー 79
印刷品質の設定メニュー 79
イメージメニュー 80
グラフィックスメニュー 81
テキストメニュー 81
シミュレーションメニュー 82
プリントジョブの確認 83
トラブルシューティング 84

3 Linux での使い方 85
プリンタドライバの動作環境 86
PPD ファイルをコマンドラインからインストールする 87
プリンタ追加 88
プリンタドライバの設定 90

設定ページの表示 90
設定項目 91
Options Installed 91
基本機能 91
詳細 92
Banners 93
文書を印刷する 94
LPR コマンドを使用する場合 94
OpenOffice の場合 95
印刷ジョブの確認 98
トラブルシューティング 99

4 Crown プリントモニタ + の使い方 101
Crown プリントモニタ + のインストール後に Crown ポートを追加する 102
Windows XP/2000/NT4.0 の場合 102
Windows Me/98SE の場合 103
Crown ポートの詳細設定 105

5 イーサネット設定メニューについて 107
イーサネットメニュー 108
設定メニューの構成 108
イーサネットメニューの表示 110
イーサネットメニューの設定項目 110
TCP/IP 111
IPX/SPX 112
ETHERTALK 112
スピード 113
PS プロトコル 113

6 ネットワーク印刷 115
ネットワーク接続 116
概念図 116
接続方法 117
イーサネット接続の場合 117
DHCP を使用する場合 117
アドレスを手動設定する場合 118
ネットワーク印刷 122
AppleTalk 122
Bonjour 122
BOOTP 122
DHCP 123
HTTP 123
IPP 123
IPX/SPX 123
LPD/LPR 123
NetBEUI 124

Port 9100 124
SLP 124
SMB 125
SMTP 125
SNMP 125
IPP（Internet Printing Protocol）印刷ー
Windows XP/Server 2003/2000 126
「プリンタの追加」ウィザードからの IPP ポートの追加 126
トラブルシューティング 128

7 PageScope Web Connection の使い方 129
PageScope Web Connection について 130
表示言語 130
動作環境 130
プリンタ内蔵 Web ページの設定 131
プリンタ名の設定 131
Web ブラウザの設定 131
Internet Explorer（Windows 版バージョン 6.0）........132
Netscape Navigator（バージョン 7.1）........133
Safari（バージョン 1.2）........133
PageScope Web Connection ウィンドウについて 134
操作方法 134
ステータス表示 135
ユーザモード 135
管理者モード 136
プリンタのステータスの表示と設定 137
システム画面 137
概要（前ページ画面）........138
オペレーター設定 139
管理 146
ジョブ画面 160
ジョブリスト（上記画面）........160
保存ジョブ印刷 161
ダイレクト印刷 162
印刷ジョブの取り込み 163
印刷画面 164
ローカルインターフェース 164
デフォルト設定 165
フォント / フォームのダウンロード 170
ネットワーク画面 174
Ethernet 174
TCP/IP（上記画面）........174
NetWare（IPX/SPX）........176
AppleTalk/Bonjour 178
IPP 180
WINS 182

SNMP 183
SSL/TLS 185
情報収集画面 196
プリンタベースジョブ情報の収集（上記画面） 196
プリンタベースエラー情報の収集 198

1 Mac OS X での使い方

プリンタドライバの動作環境

プリンタドライバのインストールを行う前に、以下の動作環境を確認してください。

コンピュータ	以下の CPU を搭載した Apple Macintosh : ・PowerPC G3 以上（PowerPC G4 以上を推奨） ・Intel Core Duo
コンピュータと プリンタの接続方法	USB 接続、 ネットワーク接続（10Base-T/100Base-TX）
オペレーティング システム	Mac OS X v10.2 以降（最新のパッチの適応を推奨） Mac OS X Server v10.2 以後
メモリ	OS が推奨する以上（128 MB 以上を推奨）
ハードディスク 空き容量	256 MB 以上（イメージ展開用）

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバのインストールを行うには、コンピュータの管理者権限が必要です。

プリンタドライバのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

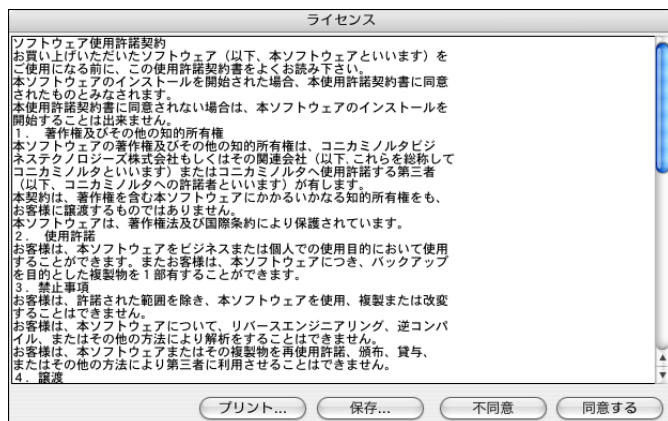
magicolor 2550 プリンタドライバのインストール

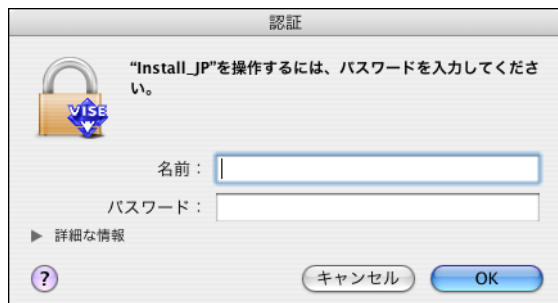
下記は、Mac OS X v10.4 を使用した場合の手順です。お使いの OS のバージョンによっては下記の手順と操作が異なる場合があります。実際の画面の指示にしたがって操作してください。

1 magicolor 2550 Software Utilities CD-ROM をCD-ROM/DVD ドライブに入れます。

2 デスクトップに表示される CD アイコンをダブルクリックし、「Install」アイコンをダブルクリックします。

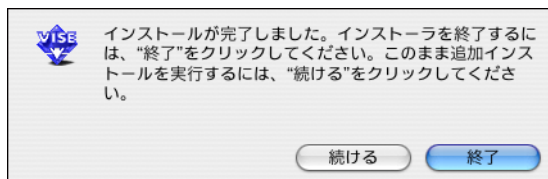
プリンタドライバのインストーラが起動します。

3 ソフトウェア使用許諾契約画面で、内容を確認し、［同意する］をクリックします。

4 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

5 認証画面で、管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

6 [インストール] をクリックします。

インストーラがプリンタドライバと ColorSync プロファイルをインストールします。

インストールが始まります。

7 インストールが完了したら [終了] をクリックします。

8 ［終了］をクリックします。

これで、magicolor 2550 プリンタドライバのインストールが完了しました。

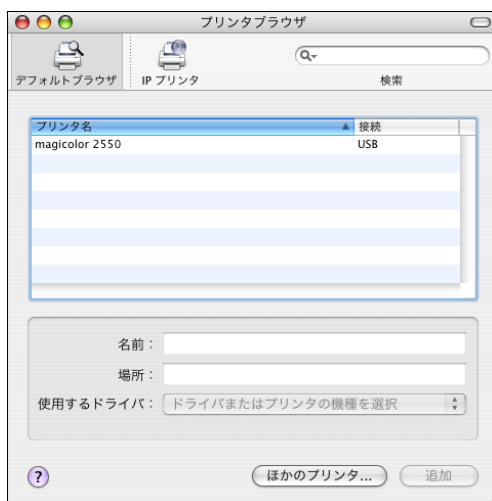
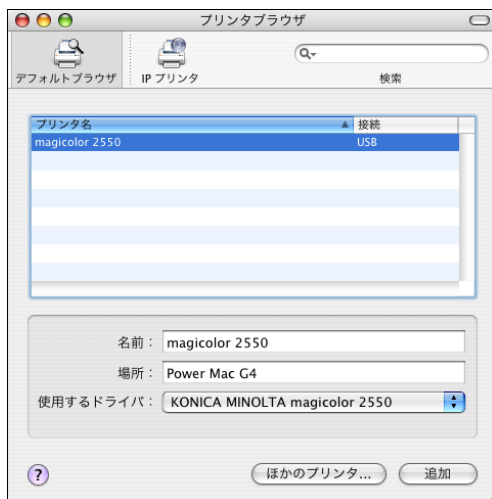
プリンタ設定ユーティリティ

USB 接続の場合

1 USB ケーブルで、プリンタとコンピュータを接続します。

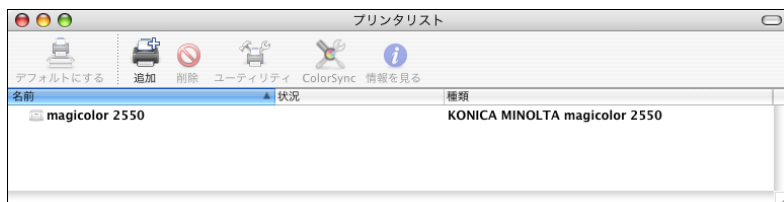
2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

3 プリンタリスト画面で、[追加]をクリックします。

プリンタブラウザ画面に、自動検出されたプリンタが表示されます。

4 プリンタブラウザ画面の［プリンタ名］リストから、「magicolor 2550」を選択します。

「magicolor 2550」が表示されないときは、プリンタの電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピュータを再起動してください。

5 「KONICA MINOLTA magicolor 2550」が、「使用するドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認します。

6 ［追加］をクリックします。

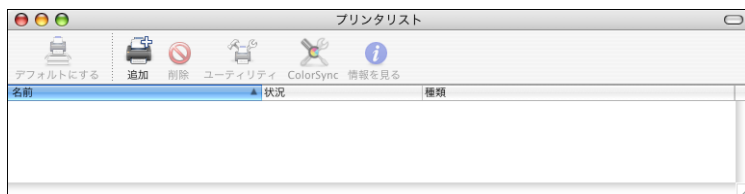
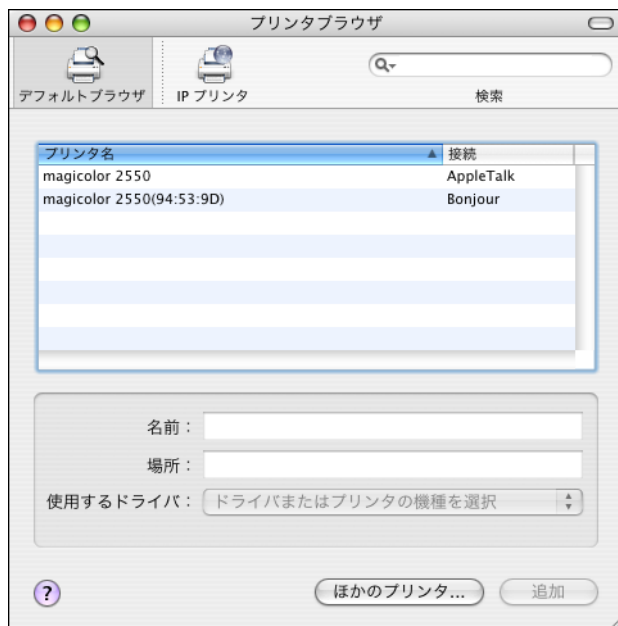
プリンタリストに新しいプリンタが表示されます。

ネットワーク接続の場合

ネットワーク接続の設定方法には、Bonjour 設定と AppleTalk 設定、IP プリント設定（IPP 設定、ポート 9100 設定、LPD 設定）があります。

Bonjour 設定

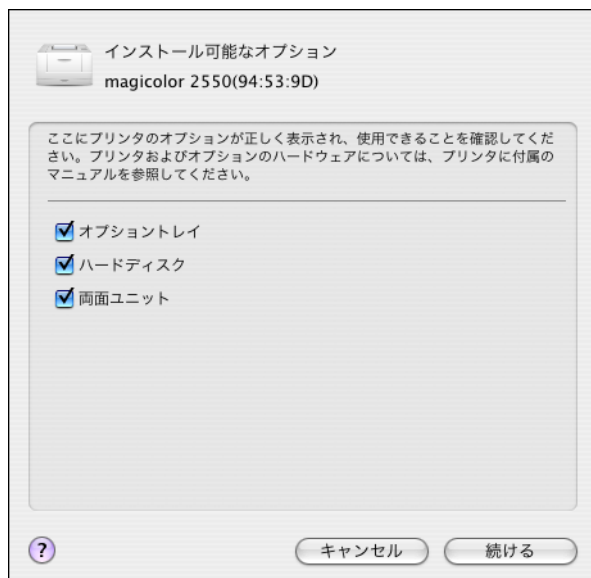
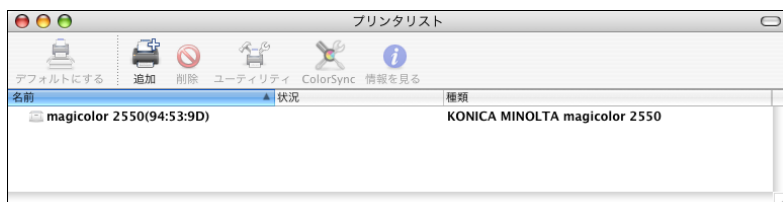
1 プリンタを Ethernet ネットワークに接続します。

2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

3 プリンタリスト画面で、[追加] をクリックします。

プリンタブラウザ画面に、自動検出されたプリンタが表示されます。

4 プリンタブラウザの「プリンタ名」リストから、「KONICA MINOLTA magicolor 2550 (xx:xx:xx)」を選択します。

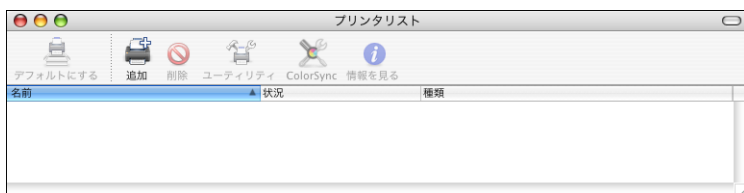
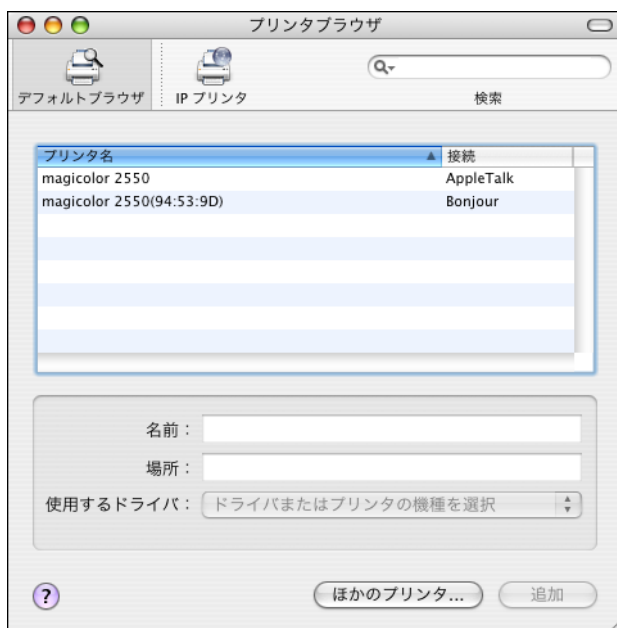
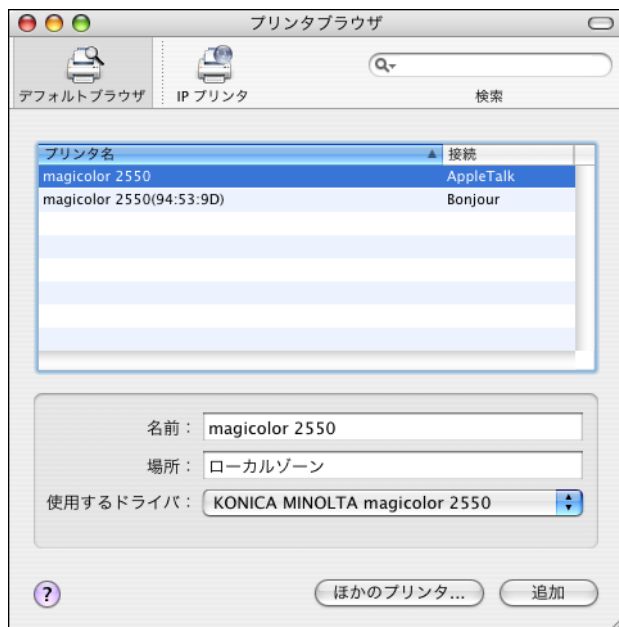
xx:xx:xx は MAC アドレスの後半 6 桁です。

5 「KONICA MINOLTA magicolor 2550」が、「使用するドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認し、［追加］をクリックします。

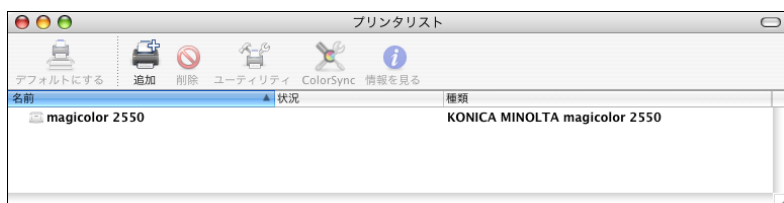
6 プリンタのオプションが正しく表示されていることを確認し、[続ける]をクリックします。

プリンタリスト画面に、新しいプリンタが表示されます。

AppleTalk 設定

1 プリンタを Ethernet ネットワークに接続します。

2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

3 プリンタリスト画面で、[追加] をクリックします。

プリンタブラウザ画面に、自動検出されたプリンタが表示されます。

4 プリンタブラウザの「プリンタ名」リストから、「magicolor 2550」を選択します。

5 「KONICA MINOLTA magicolor 2550」が、「使用するドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認します。

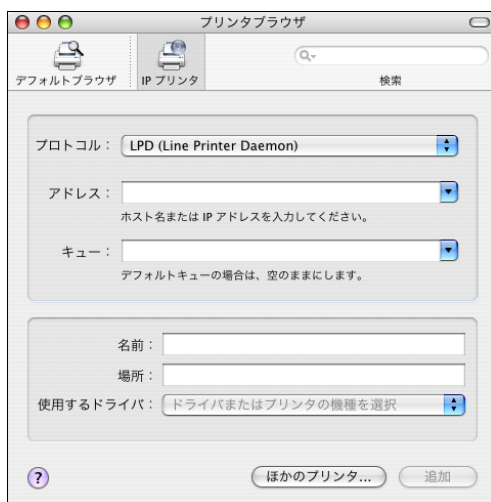
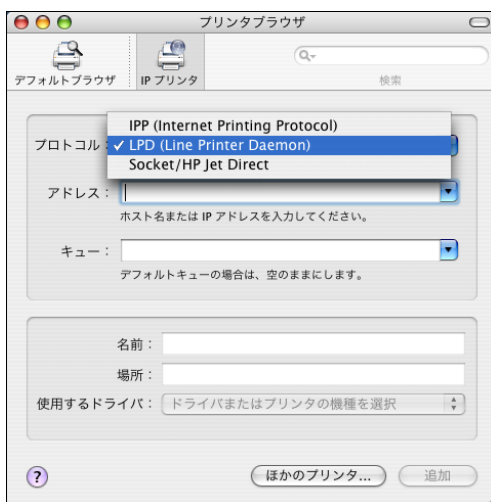
6 ［追加］をクリックします。

プリンタリスト画面に、新しいプリンタが表示されます。

IP プリント設定（IPP 設定 / ポート 9100 設定 /LPD 設定）

1 プリンタを Ethernet ネットワークに接続します。

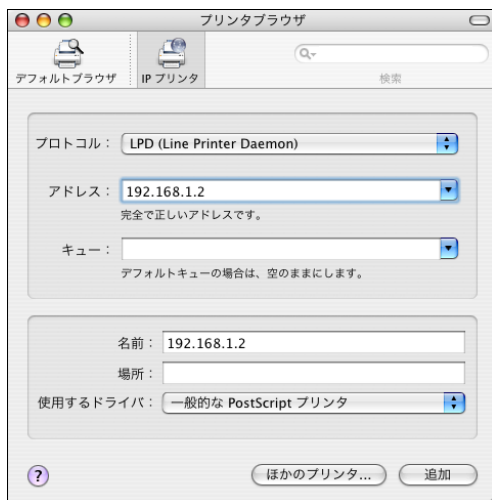
2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

3 プリンタリスト画面で［追加］をクリックします。

4 ［IP プリンタ］をクリックします。

5 「プロトコル」ポップアップメニューから、プロトコルを選択します。

IPP 設定の場合、「IPP（Internet Printing Protocol）」を選択します。

LPD 設定の場合、「LPD（Line Printer Daemon）」を選択します。

ポート 9100 設定の場合、「Socket/HP Jet Direct」を選択します。

6 「アドレス」ボックスにプリンタの IP アドレスを入力します。

LPD 設定の場合、「キュー」テキストボックスに「lp」と入力します。

IPP 設定の場合、「キュー」テキストボックスに「ipp」と入力します。

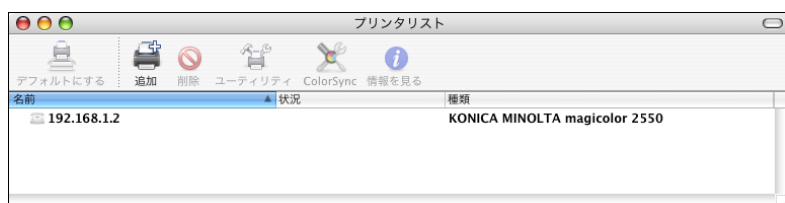
7 必要に応じて、「名前」ボックスにプリンタの名前を入力します。

8 必要に応じて、「場所」ボックスにプリンタの設置場所を入力します。

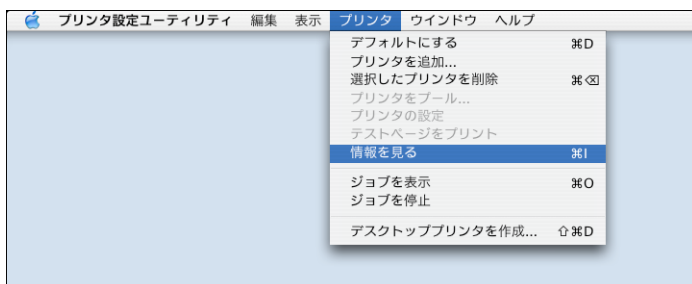
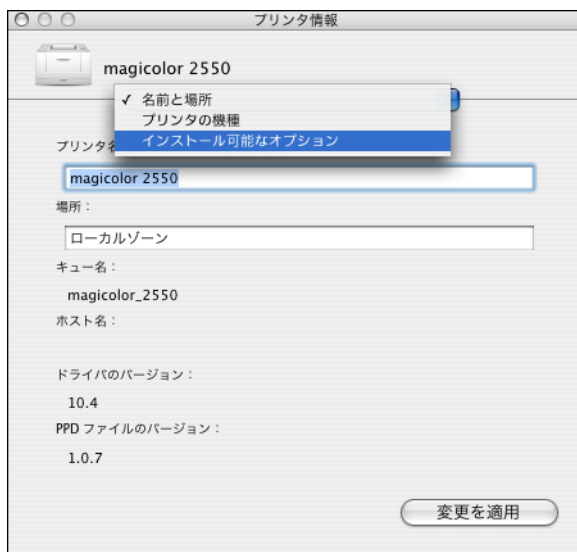
9 「使用するドライバ」ポップアップメニューから「KONICA MINOLTA」を選択します。

10 「機種」リストで「KONICA MINOLTA magicolor 2550」を選択し、［追加］をクリックします。

11 プリンタのオプションが正しく表示されていることを確認し、[続ける]をクリックします。

プリンタリストに新しいプリンタが表示されます。

オプションの設定

1 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

2 プリンタリスト画面で本機を選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。

3 ポップアップメニューから「インストール可能なオプション」を選択します。

4 お使いの環境に合わせてオプショントレイ、ハードディスク、両面ユニットを選択し、［変更を適用］をクリックします。

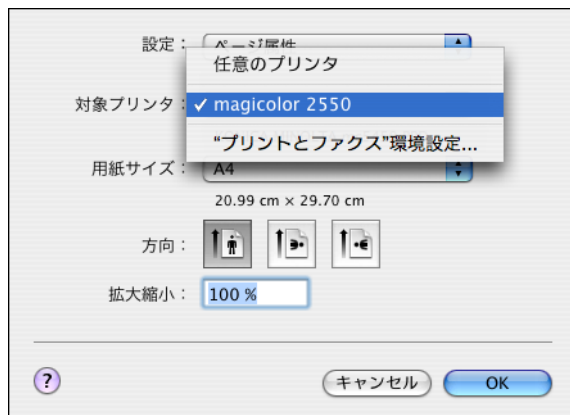
5 プリンタ情報画面を閉じます。

ページ設定画面の設定

アプリケーションソフトウェアで「ファイル」メニューから「用紙設定 ...」または「ページ設定 ...」を選択したときに表示されます。

1 「ファイル」メニューから「用紙設定 ...」または「ページ設定 ...」を選択します。

ページ設定画面が表示されます。

2 「対象プリンタ」ポップアップメニューから本機を選択します。

ページ設定画面の「設定」ポップアップメニューで表示される各メニューでは、以下のような設定を行うことができます。

設定	設定内容
ページ属性	用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小の設定を行います。
デフォルトとして保存	変更した設定を初期値として保存します。

ページ属性メニュー

ページ属性画面では、用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小の設定を行うことができます。

■ 用紙サイズ

用紙サイズをポップアップメニューから選択します。

■ 方向

印刷方向を選択します。

■ 拡大縮小

拡大縮小して印刷する場合は、拡大縮小の比率を入力します（25 ～ 400%）。

どの用紙サイズの場合も、用紙の端から内 4 mm までの範囲は印刷できません。

カスタム・ページ・サイズメニュー

ページ属性画面（前ページ）の「用紙サイズ」ポップアップメニューから「カスタムサイズを管理」を選択すると、カスタム・ページ・サイズ画面が表示されます。

カスタム・ページ・サイズ画面では、カスタム用紙サイズの設定を行うことができます。

■ ＋

新しくカスタム用紙サイズを作成するときにクリックします。

■ 複製

すでにあるカスタム用紙サイズを複製するときにクリックします。

■ －

選択しているカスタム用紙サイズを削除するときにクリックします。

■ ページサイズ

縦と横のサイズを入力して、カスタム用紙サイズを設定します。

本プリンタで設定できる数値は、以下のとおりです。

高さ： 14.8 cm ～ 35.6 cm　　幅： 9.2 cm ～ 21.6 cm

■ プリンタの余白

ページの上下左右の余白（マージン）の値を設定します。

どの用紙サイズの場合も、用紙の端から内 4 mm までの範囲は印刷できません。

プリント画面の設定

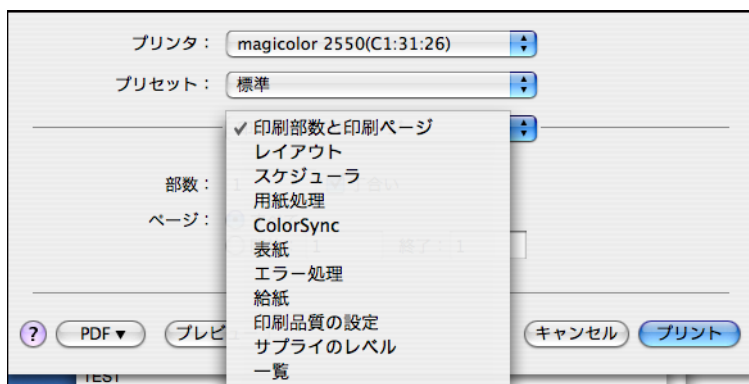
ここでは、アプリケーションソフトウェアで「ファイル」メニューから「プリント ...」または「印刷 ...」を選択したときに表示されるプリント画面について説明します。

1 「ファイル」メニューから「プリント ...」または「印刷 ...」を選択します。

プリント画面が表示されます。

2 「プリンタ」ポップアップメニューから本機を選択します。

プリント画面のポップアップメニューでは、以下のような設定を行うことができます。

プリント設定のメニュー

メニュー	設定内容
印刷部数と印刷ページ	印刷するページや部数を設定します。
レイアウト	印刷時のページレイアウトや、両面印刷の設定を行います。
スケジューラ	ジョブを印刷するタイミングや優先順位を設定します。
用紙処理	印刷するページの順番や、印刷するページを設定します。
ColorSync	ColorSync の設定を行います。
表紙	表紙の設定を行います。
エラー処理	エラーの出力方法を指定します。

メニュー	設定内容
給紙	給紙方法を設定します。
印刷品質の設定	カラー印刷や用紙種類の設定を行います。
サプライのレベル	消耗品の状態を表示します。（Bonjour のみ）
一覧	現在の印刷設定を確認することができます。

同時に設定できない機能などを指定しても、警告メッセージは表示されません。

共通のボタン

- ?（ヘルプボタン）

  プリント画面のヘルプを表示します。

- PDF

  PDF メニューを表示したいときに、このボタンをクリックします。ページ出力を PDF ファイルとして保存したり、PDF をファクス送信したりできます。

- プレビュー

  印刷を行う前に印刷イメージを確認したいときに、このボタンをクリックします。

- キャンセル

  変更した設定を無効（キャンセル）にして、画面を閉じます。

- プリント

  変更した設定を有効にして、印刷を行います。

印刷部数と印刷ページメニュー

印刷部数と印刷ページ画面では、印刷するページや部数の設定を行います。

プリンタ： magicolor 2550
プリセット： 標準
印刷部数と印刷ページ
部数： 1 ☑丁合い
ページ： ◉すべて
○開始： 1 終了： 1
? PDF ▼ プレビュー キャンセル プリント

■ 部数

印刷部数を設定します。「丁合い」をチェックすると、丁合い機能が働き、文書全体が 1 部ずつまとまって印刷されます。

例えば部数を「5」にして「丁合い」をチェックすると、文書の最初のページから最後のページまでが 5 回印刷されます。

■ ページ

すべて： 全ページを印刷します。

開始、終了： 印刷するページを指定します。

レイアウトメニュー

レイアウト画面では、印刷時のページレイアウトや、両面印刷に関する設定を行います。

■ ページ数／枚

1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。例えば「2」を選択すると、1 枚の用紙に 2 ページ分が印刷されます。

■ レイアウト方向

1 枚の用紙に複数ページを印刷する場合に、ページをどのような方向、順番で印刷するかをクリックして選択します。

■ 境界線

1 枚の用紙に複数ページ印刷する際、各ページの周りに境界線を印刷する場合は、ポップアップメニューから境界線の種類を選択します。

■ 両面

オプションの両面プリントユニットが装着されている場合、両面印刷に関する設定を行います。

切：	両面印刷を行いません。
長辺とじ：	長辺とじで両面印刷を行います。
短辺とじ：	短辺とじで両面印刷を行います。

両面印刷を行うときは、「オプションの設定」（p.37）で「両面ユニット」を選択しておいてください。
「両面ユニット」を選択していなくても「長辺とじ」または「短辺とじ」の項目をチェックできますが、その場合はプリントジョブがキャンセルされます。

スケジューラメニュー

スケジューラ画面では、ジョブを印刷するタイミングと優先順位の設定を行います。

■ 書類をプリント

今すぐプリント：すぐに印刷を開始します。

後でプリント： 印刷を開始する時刻を指定します。

保留： プリントジョブを保留します。

■ 優先順位

保留しているジョブを印刷する時の優先順位を設定します。

用紙処理メニュー

用紙処理画面では、印刷するページの順番や、印刷するページの設定を行います。

■ ページの順序

自動：文書のページ順序で印刷するときに選択します。

通常：通常のページ順序で印刷するときに選択します。

逆送り：印刷するページの順番を逆にして印刷するときに選択します。

■ プリント

すべてのページ：全てのページを印刷します。

奇数ページ：奇数ページのみ印刷します。

偶数ページ：偶数ページのみ印刷します。

■ 出力用紙サイズ

使用する出力用紙サイズ：ソフトウェアが作成した書類のサイズを使用するときに選択します。

用紙サイズに合わせる：書類の用紙サイズを、プリンタで使用されている用紙サイズに合わせるときに選択します。

プリンタで使用されている用紙サイズを指定します。

ColorSync メニュー

■ カラー変換

コンピュータでカラーマッチングを行うか、プリンタでカラーマッチングを行うかを選択します。

■ Quartz フィルタ

Quartz フィルタを選択し、色調を変更できます。

表紙メニュー

■ 表紙をプリント

書類の前か、書類の後に表紙を印刷できます。

■ 表紙のタイプ

表紙の種類を選択します。

■ 課金情報

表紙に印刷される課金情報を設定します。

エラー処理メニュー

■ PostScript エラー

PostScript エラーを出力するかどうかを選択します。

■ トレイの切り替え

指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合にどうするかを選択します。

給紙メニュー

給紙画面では、給紙方法の設定を行います。

■ 全体

すべてのページで使用する給紙トレイを選択します。

■ 先頭ページのみ

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページで使用する給紙トレイを選択します。

■ 残りのページ

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に、最初のページ以外で使用する給紙トレイを選択します。

オプションの給紙ユニットを装着している場合は、「オプションの設定」(p.37) で「オプショントレイ」を選択してください。オプションの設定画面で「オプショントレイ」が選択されていない場合は、給紙画面の「トレイ 2」の項目はグレー表示になり選択できません。

印刷品質の設定メニュー

■ クイックカラー

クイックカラーを選択します。

■ 解像度

画像の解像度を選択します。

■ 用紙種類

用紙の種類を選択します。

■ カラーモード

カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを選択します。

■ 詳細

クリックすると、詳細設定ページを表示します。

印刷品質の設定（詳細）／イメージ

■ RGB ソース（イメージ）

画像の RGB ソースプロファイルを選択します。

■ RGB 特性（イメージ）

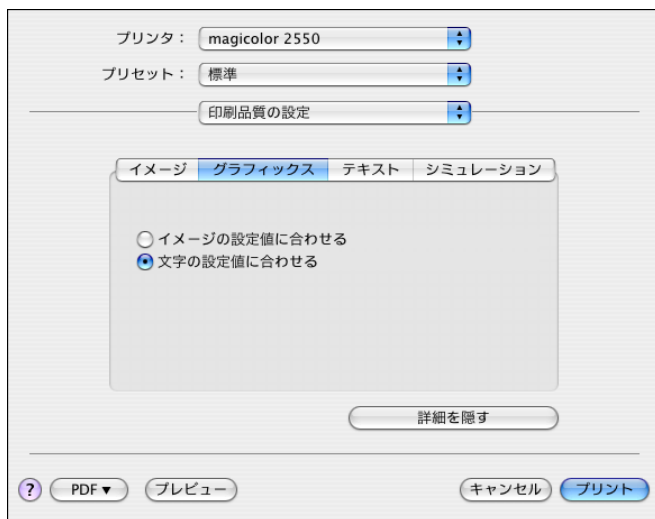
画像の RGB カラー特性を選択します。

■ ハーフトーン（イメージ）

画像の中間色の再現性を選択します。

■ 詳細を隠す

詳細設定ページを隠し、印刷品質の設定ページを表示します。

印刷品質の設定（詳細）／グラフィックス

- グラフィックス

  グラフィックの設定を選択します。

- 詳細を隠す

  詳細設定ページを隠し、印刷品質の設定ページを表示します。

印刷品質の設定（詳細）／テキスト

■ RGB ソース（テキスト）

テキストの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ RGB 特性（テキスト）

テキストの RGB カラー特性を選択します。

■ グレー再現（テキスト）

RGB のテキストデータの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ ハーフトーン（テキスト）

テキストの中間色の再現性を選択します。

■ 詳細を隠す

詳細設定ページを隠し、印刷品質の設定ページを表示します。

印刷品質の設定（詳細）／シミュレーション

■ シミュレーションプロファイル

RGB カラープロファイルを選択します。

■ グレー再現

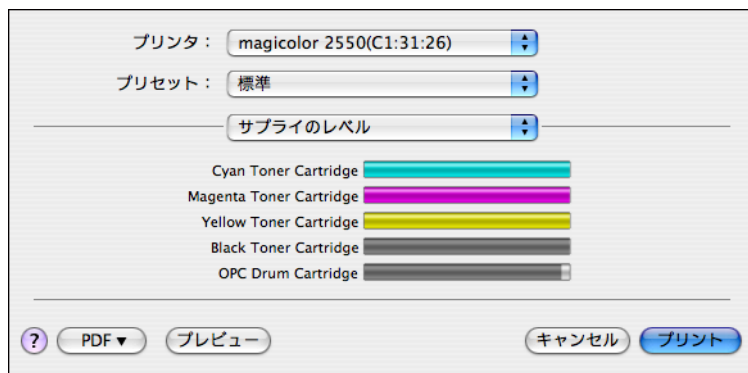
シミュレーションの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ 用紙の色に合わせる

下地色を印刷するかどうかを選択します。

■ 詳細を隠す

詳細設定ページを隠し、印刷品質の設定ページを表示します。

サプライのレベルメニュー（Bonjour のみ）

サプライのレベル画面では、現在の消耗品の状態を確認することができます。

一覧メニュー

一覧画面では、現在のプリント設定を確認することができます。

トラブルシューティング

症状	対応・処置
プリンタの設定項目が英語表記になっている	– Mac OS X 10.3/10.4 の場合： 「プリンタ設定ユーティリティ」よりプリンタを選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。プリンタ情報画面のプルダウンメニューから「プリンタの機種」を選択します。プルダウンメニューから「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名から「KONICA MINOLTA magicolor 2550」を選択後、「変更を適用」ボタンをクリックします。 – Mac OS X 10.2 の場合： 「プリントセンター」よりプリンタを選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。プリンタ情報画面のプルダウンメニューから「プリンタの機種」を選択します。プルダウンメニューから「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名から「KONICA MINOLTA magicolor 2550」を選択後、「変更を適用」ボタンをクリックします。
プリセットで保存した機能が反映されない。	プリンタの機能によっては、プリセットでは保存されません。
プリンタがハングアップする。	OS の不具合により、用紙サイズと用紙種類の組合せが禁止できません。正しくない組合せで印刷したとき、プリンタがハングアップします。用紙サイズと用紙種類は、正しい組合せで印刷してください。
プリンタドライバおよび PPD ファイルのバージョンを確認したい。	– Mac OS X 10.4 の場合 「プリンタ設定ユーティリティ」よりプリンタを選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。プリンタ情報画面のポップアップメニューから「名前と場所」を選択します。
他社製のプリンタから切り替えたとき、画面の表示がおかしい。	一旦プリント画面を閉じ、開き直してください。
カスタム用紙サイズが、設定した値と違う。	OS の不具合により、カスタム用紙サイズで設定した値が、微妙に変わってしまうことがあります。（例：14.70 cm → 14.69 cm）

症状	対応・処置
2-up 印刷時に用紙の中央に印刷されない。	OS の不具合により、以下のサイズで 2-up 印刷を行ったときは、用紙の中央に印刷されません。（リーガル、レタープラス、フールスキャップ、ガバメントリーガル、ステートメント、フォリオ）
N-up 印刷を複数部行ったとき、「丁合い」を指定していると、連続して印刷される。	N-up 印刷を複数部行うときは、「丁合い」を指定しないでください。
Acrobat Reader からの印刷時、「丁合い」が正しく機能しなかったり、印刷途中でジョブがキャンセルされたりする。	Acrobat Reader で印刷に不具合が出る場合は、OS に付属の「プレビュー」で印刷してください。
カスタム用紙サイズの名前として使えないものがある。	Mac OS X の制限により、以下の名前をカスタム用紙サイズの名前として使用することはできません。他の名前を使用して下さい。 –「Custom」 –「A4」や「B4」など、PDF ファイルで定義されている一般的な用紙サイズの名前
用紙タイプエラーが表示される。	トレイ 1 とトレイ 2 で、サポートしている用紙タイプを指定してください。

Mac OS 9 での使い方

プリンタドライバの動作環境

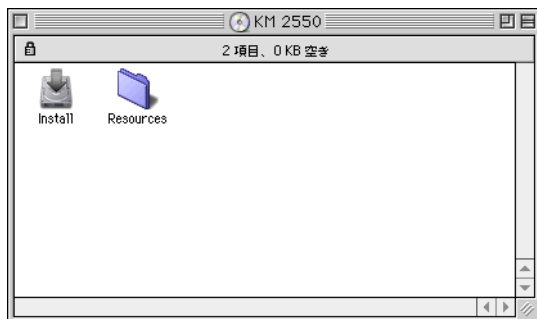
プリンタドライバのインストールを行う前に、以下の動作環境を確認してください。

コンピュータ	PowerPC G3 以上の CPU を搭載した Apple Macintosh（PowerPC G4 以上を推奨）
コンピュータとプリンタの接続方法	USB 接続、 ネットワーク接続（10Base T/100Base TX）
OS	Mac OS 9.1 以降
メモリ	OS が推奨する以上（128 MB 以上を推奨）
ハードディスク空き容量	256 MB 以上推奨（イメージ展開用）

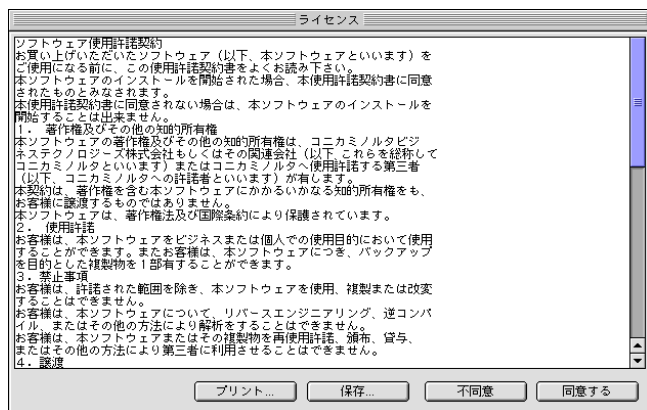
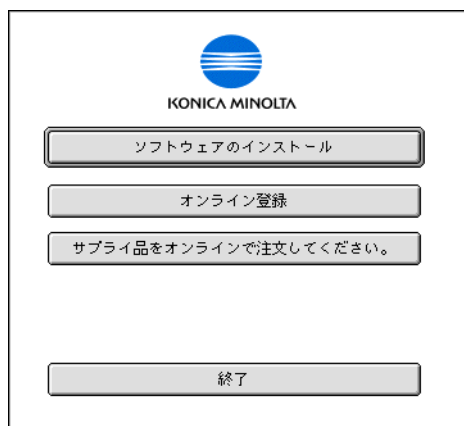
プリンタドライバのインストール

プリンタドライバのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

1 magicolor 2550 Software Utilities CD-ROM を CD-ROM/DVD ドライブに入れます。

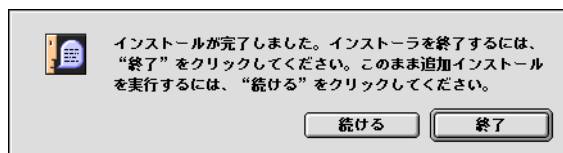
2 デスクトップに表示される CD アイコンをダブルクリックし、「Install」アイコンをダブルクリックします。

プリンタドライバのインストーラが起動します。

Mac OS X をお使いの場合、プリンタドライバをインストールする前に、Classic を起動してください。

3 ソフトウェア使用許諾契約画面で、内容を確認し、［同意する］をクリックします。

4 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

5 ［インストール］をクリックします。

インストーラがプリンタドライバと ColorSync プロファイルをインストールします。

インストールが始まります。

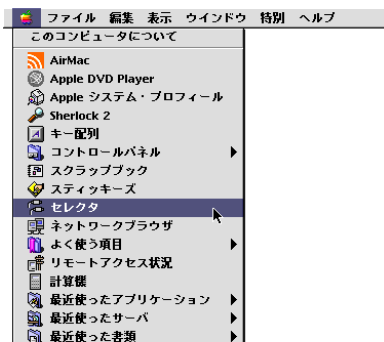
6 インストールが完了したら［終了］をクリックします。

7 ［終了］をクリックします。

これで、magicolor 2550 プリンタドライバのインストールが完了しました。

セレクタでのプリンタの選択

AppleTalk を使用してプリンタに接続するには、セレクタを使用します。

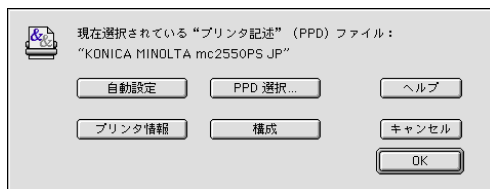
1 プリンタを Ethernet ネットワークに接続します。

2 アップルメニューから「セレクタ」を選択します。

3 セレクタ画面の左側で「LaserWriter 8」を選択します。

画面右側の「PostScript プリンタの選択」にプリンタ名が表示されます。

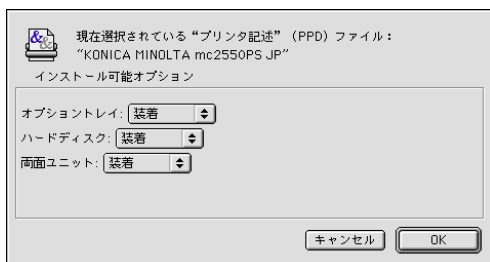
4 プリンタを選択します。

5 ［作成］をクリックします。

以下の画面が表示されます。

6 ［PPD 選択］をクリックします。

7 リストから、「KONICA MINOLTA mc2550PS JP」を選択して、［開く］をクリックします。

8 ［構成］をクリックします。

プリンタ設定ダイアログが表示されます。

9 装着しているオプションを選択して、［OK］をクリックします。

10 ［OK］をクリックします。

magicolor 2550 アイコンがデスクトップに表示されます。

Classic モードの場合、デスクトップにアイコンは表示されません。

デスクトップ・プリンタ Utility からプリンタを選択する

USB ケーブルを使用してプリンタに接続するには、デスクトップ・プリンタ Utility を使用します。

1 プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。

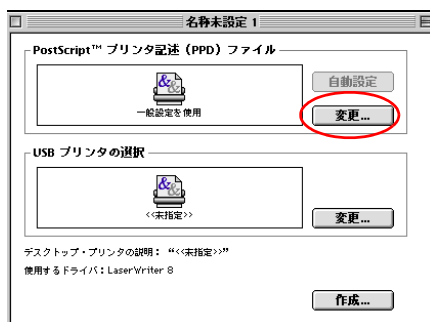
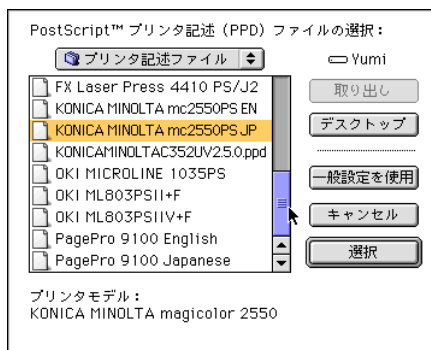
2 ハードディスクから、デスクトップ・プリンタ Utility を選択します。

新規画面が表示されます。

3 ［プリンタ］ポップアップメニューから、「LaserWriter 8」を選択します。

4 ［デスクトップに作成］リストから、「プリンタ（USB）」を選択します。

5 ［OK］をクリックします。

6 ［変更］をクリックして、PPD ファイルを選択します。

7 PPD ファイルの一覧から「KONICA MINOLTA mc2550PS JP」を選択します。

8 ［選択］をクリックします。

9 ［変更］をクリックして、USB プリンタを選択します。

10 ［USB プリンタの選択］リストから、「magicolor 2550」を選択します。

11 ［OK］をクリックします。

12 ［作成］をクリックします。

13 ［保存する］をクリックします。

14 必要に応じて、プリンタの名前を変更し、［OK］をクリックします。

デスクトップに magicolor 2550 アイコンが表示されます。

Classic モードの場合、デスクトップにアイコンは表示されません。

ページ設定ダイアログの設定

アプリケーションソフトウェアで、「ファイル」メニューから「用紙設定 ...」または「ページ設定 ...」を選択したときに表示されます。

ページ属性メニュー

「ページ属性」画面では、用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小の設定を行うことができます。

■ 用紙

用紙サイズをポップアップメニューから選択します。

■ 方向

印刷方向を選択します。

■ 拡大縮小（%）

拡大縮小して印刷する場合は、拡大縮小の比率を入力します（25% ～ 400%）。

どの用紙サイズの場合も、用紙の端から内 4 mm までの範囲は印刷できません。

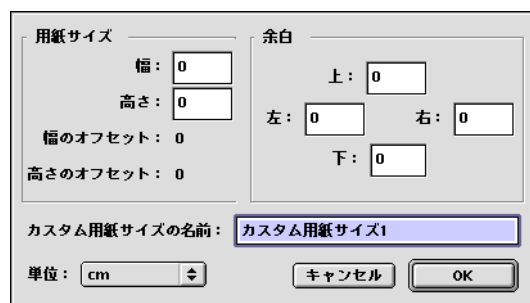
カスタム用紙サイズメニュー

ページ設定画面の用紙ポップアップメニュー内にないカスタム用紙サイズを設定することができます。

1 ページ設定画面のポップアップメニューから「カスタム用紙サイズ」を選択します。

用紙サイズ編集画面が表示されます。

2 「新規」をクリックします。

以下の画面が表示されます。

3 「カスタム用紙サイズの名前」ボックスにカスタム用紙サイズ名を、「幅」「高さ」ボックスに用紙の幅と高さを、「余白」ボックスに余白の値を入力し、[OK] をクリックします。

「幅」「高さ」ボックスで入力する値の単位は、センチメートル（cm）です。インチで値を設定するときは、「単位」ポップアップメニューから「インチ」を選択してください。

本プリンタで設定できる数値は、以下のとおりです。
高さ：14.8 cm ～ 35.6 cm　幅：9.2 cm ～ 21.6 cm

どの用紙サイズの場合も、用紙の端から内 4 mm までの範囲は印刷できません。

4 複数のカスタム用紙サイズを設定する場合は、「新規」をクリックし、手順 3 の操作を繰り返してください。

すでに設定されているカスタム用紙サイズを削除するときは、中央のリストからカスタム用紙サイズを選択し、［削除］をクリックしてください。

5 カスタム用紙サイズの設定が保存され、ページ設定ダイアログの「用紙サイズ」ポップアップメニューからその設定を選択できるようになります。

6 設定が終わったら［終了］をクリックします。

プリント画面の設定

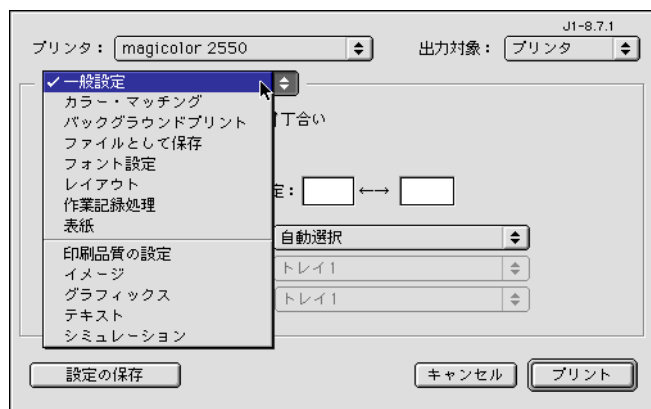
ここでは、アプリケーションソフトウェアで「ファイル」メニューから「プリント ...」または「印刷 ...」を選択したときに表示されるプリント画面について説明します。

1 「ファイル」メニューから「プリント ...」または「印刷 ...」を選択します。

プリント画面が表示されます。

2 「プリンタ」ポップアップメニューから本機を選択します。

プリント画面のポップアップメニューでは、以下のような設定を行うことができます。

プリント設定のメニュー

メニュー	設定内容
一般設定	部数、給紙トレイ、印刷するページの設定を行います。
カラーマッチング	カラーマッチングの設定を行います。
バックグラウンドプリント	印刷するときにデータをスプールする（バックグランド印刷）かスプールしない（フォアグラウンド印刷）かの設定と、印刷時間の設定を行います。
ファイルとして保存	印刷イメージをファイルとして保存するかどうかの設定と、保存するデータの形式を設定します。

メニュー	設定内容
フォント設定	フォントの設定とフォントのダウンロードの設定を行います。
レイアウト	印刷する際のページレイアウトの設定や両面印刷の設定を行います。
作業記録処理	作業記録の設定を行います。
表紙	表紙の設定を行います。
印刷品質の設定	印刷品質の設定を行います。
イメージ	イメージデータの詳細なカラーオプション設定を行います。
グラフィックス	グラフィックスデータの詳細なカラーオプション設定を行います。
テキスト	テキストデータの詳細なカラーオプション設定を行います。
シミュレーション	シミュレーションプロファイルの設定を行います。

同時に設定できない機能などを指定しても、警告メッセージは表示されません。

共通のボタン

■ キャンセル

変更した設定を無効（キャンセル）にして、画面を閉じます。

■ プリント

変更した設定を有効にして、印刷を行います。

■ 設定の保存

プリント画面で変更した設定を保存したいときに、このボタンをクリックします。変更は、次に設定が変更されるまで、初期設定として使用されます。

一般設定メニュー

■ 部数

印刷部数を設定します。「丁合い」をチェックすると、丁合い機能が働き、文書全体が 1 部ずつまとまって印刷されます。

例えば部数を「5」にして「丁合い」をチェックすると、文書の最初のページから最後のページまでが 5 回印刷されます。

■ ページ

全ページ：全ページを印刷します。

ページ指定：印刷するページを指定します。

■ 給紙元

全体：すべてのページで使用する給紙トレイを選択します。

1 枚目：最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページで使用する給紙トレイを選択します。

残り：最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に、最初のページ以外で使用する給紙トレイを選択します。

オプショントレイが装着されていない場合は、グレー表示になり選択できません。

カラーマッチングメニュー

■ カラー指定

お使いのコンピュータで使用可能なカラー設定から選択します。

■ マッチングスタイル

カラーマッチング設定を指定します。また、設定を自動的に選択することもできます。「カラー指定」で「ColorSync カラー・マッチング」を選択していない場合は、この項目はグレー表示になり、設定できません。

■ プリンタ用プロファイル

使用可能なプリンタ用プロファイルから設定を選択します。

バックグラウンドプリントメニュー

■ 処理方法

バックグラウンド：プリントジョブを処理する準備ができるまでコンピュータ上に一時的に保存される、スプールファイルが作成されます。そのため、プリントジョブの処理中も、お使いのアプリケーションで作業を続けることができます。

フォアグランド：お使いのコンピュータ上に、スプールファイルの処理を行う空き容量が十分にない場合に選択してください。

■ プリント時刻

至急：すぐに印刷を開始します。

標準：通常どおり印刷を行います。

日時を指定：印刷を開始する時刻を指定します。

保留：プリントジョブを保留します。

ファイルとして保存メニュー

- ■ フォーマット

  出力ファイルのフォーマットを選択します。

- ■ PostScript レベル

  PostScript レベルを選択します。

- ■ データフォーマット

  プリントジョブをファイルとして保存する際のフォーマットを、「ASCII」または「二進（バイナリ）」から選択します。

- ■ フォントの保持

  プリントジョブをファイルとして保存する際に、プリントジョブ内のフォントを保持する方法を選択します。

フォント設定メニュー

- ■ フォント情報

  フォント・キーに注釈をつける：フォントキーに注釈を追加するよう設定します。

■ フォント・ダウンロード

– 優先フォーマット：優先的にダウンロードされるフォントのフォーマットを指定します。

– 必要なフォントを常にダウンロードする：この項目をチェックすると、必要なフォントが常にプリンタにダウンロードされるようになります。プリンタのフォントは使用されません。

– Type 42 フォーマットを作成しない：この項目をチェックすると、Type 42 フォーマットのフォントが生成されません。

– 省略時設定を使用：フォント・ダウンロードの設定を工場出荷時の値に戻します。

レイアウトメニュー

■ ページ割り付け

1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。

例えば「2 ページ分」を選択すると、1 枚の用紙に 2 ページ分が印刷されます。

■ レイアウト方向

1 枚の用紙に複数ページを印刷する場合に、ページをどのような方向、順番で印刷するかクリックして選択します。

■ 枠線

1 枚の用紙に複数ページ印刷する際、各ページの周りに枠線を印刷する場合は、ポップアップメニューから枠線の種類を選択します。

■ 両面にプリント

プリントジョブを両面印刷するかどうか設定します。

オプションの両面プリントユニットが装着され、PPD でオプションが設定されている場合以外は、グレー表示になり、設定できません。詳しくは、「セレクタでのプリンタの選択」（p.63）を参照してください。

■ とじしろ

用紙内の各ページの綴じる方向を、短辺か長辺か指定します。

作業記録処理メニュー

■ PostScript エラーが起きた場合

PostScript エラーが起きたときにプリンタが自動的に行う処理を設定します。

■ 作業記録

作業記録フォルダとして設定されたフォルダに、作業内容のコピーを生成するように設定します。

また、ジョブが終了したあとに、フォントの情報などの作業ログを生成することもできます。

■ 作業記録フォルダ

作業記録フォルダの場所を指定します。選択されたフォルダには、作業内容のコピーや、作業内容の記録が保管されます。

［変更］をクリックすると、別のフォルダを参照して選択できます。

表紙メニュー

■ 表紙のプリント

書類の前か、書類の後ろに表紙を印刷できます。

■ 表紙の給紙元

表紙を印刷する用紙が入っている給紙トレイを選択します。

表紙ページには、ユーザ名、アプリケーション、文書名、日付、時刻、プリンタ名、ページ番号など、プリントジョブに関する情報が印刷されます。

「表紙のプリント」で「なし」が選択されている場合は、この項目はグレー表示になり、設定できません。

印刷品質の設定メニュー

■ クイックカラー

クイックカラーを選択します。

■ 解像度

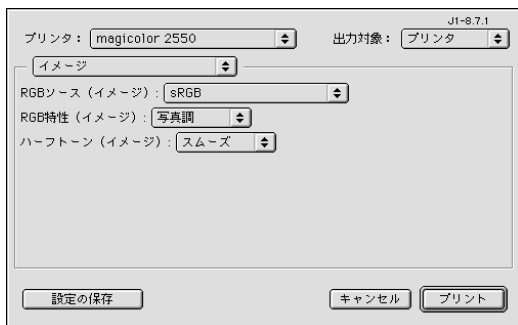
画像の解像度を選択します。

■ 用紙種類

用紙の種類を選択します。

■ カラーモード

カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを選択します。

イメージメニュー

■ RGB ソース（イメージ）

画像の RGB ソースプロファイルを選択します。

■ RGB 特性（イメージ）

画像の RGB カラー特性を選択します。

■ ハーフトーン（イメージ）

画像の中間色の再現性を選択します。

グラフィックスメニュー

■ RGB ソース（グラフィックス）

グラフィックスの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ RGB 特性（グラフィックス）

グラフィックスの RGB カラー特性を選択します。

■ ハーフトーン（グラフィックス）

グラフィックスの中間色の再現性を選択します。

テキストメニュー

■ RGB ソース（テキスト）

テキストの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ RGB 特性（テキスト）

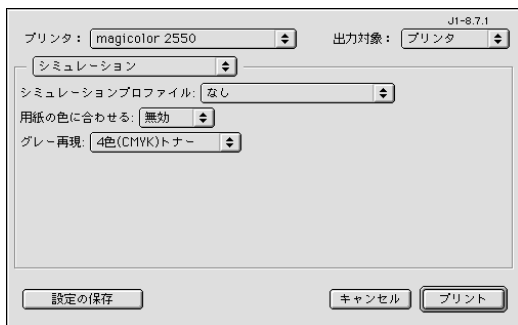
テキストの RGB カラー特性を選択します。

■ グレー再現

RGB のテキストデータの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ ハーフトーン（テキスト）

テキストの中間色の再現性を選択します。

シミュレーションメニュー

■ シミュレーションプロファイル

RGB カラープロファイルを選択します。

■ 用紙の色に合わせる

下地色を印刷するかどうかを選択します。

■ グレー再現

シミュレーションの黒色とグレーの再現方法を選択します。

プリントジョブの確認

デスクトップにある magicolor 2550 アイコンをダブルクリックすると、プリントジョブを確認することができます。

Classic モードの場合、プリントモニタが自動的に起動し、アイコンが Dock 内に表示されます。プリントモニタのアイコンをクリックすると、プリントジョブの状況を確認できます。

トラブルシューティング

<table>
<tr><th>症状</th><th>対応・処置</th></tr>
<tr><td>カスタム用紙で両面印刷すると、エラーが発生する。</td><td>カスタム用紙では、両面印刷できません。また、ページ種類（メディアタイプ）にも制限がありますので設定に注意してください。製品に付属のユーザーズガイド（電子マニュアル）を参照してください。</td></tr>
<tr><td>Web ブラウザから印刷すると、フレームごとに別のページにプリントされる。</td><td>Web ブラウザの仕様により、フレームごとに別ページに印刷されることがあります。別の Web ブラウザで印刷を試してください。
プリントダイアログのプレビュー機能を使って確認することができます。</td></tr>
<tr><td>両面印刷が選択できない。</td><td rowspan="2">ネットワークでプリンタと接続している場合、セレクタで装着しているオプションを選択してください。セレクタでオプションを選択する方法については、「セレクタでのプリンタの選択」（p.63）をごらんください。また、ページ種類（メディアタイプ）にも制限がありますので設定に注意してください。製品に付属のユーザーズガイド（電子マニュアル）を参照してください。</td></tr>
<tr><td>トレイ 2 が選択できない。</td></tr>
<tr><td>エラーを解除したが、またエラーダイアログが表示された。</td><td>まれに、エラーを解除したにもかかわらず、エラーダイアログが数回表示されることがあります。</td></tr>
</table>

3

Linux での使い方

プリンタドライバの動作環境

プリンタドライバのインストールを行う前に、以下の動作環境を確認してください。

OS	Red Hat Linux 9.0 、SuSE Linux 8.2
コンピュータとプリンタの接続方法	USB 接続、パラレル接続、 ネットワーク接続（10Base-T/100Base-TX）
メモリ	OS が推奨する環境以上（128 MB 以上を推奨）
ネットワーク	LPR（queue: lp, LP, default, DEFAULT）
	AppSocket/HP JetDirect
ハードディスク空き容量	256 MB 以上

 この章では、Red Hat 9.0 での操作を例に説明しています。

PPD ファイルをコマンドラインからインストールする

プリンタドライバのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

PPD ファイルのインストールにはルート権限が必要です。

1 Software Utilities CD-ROM から PPD ファイルを “/usr/share/cups/model/KONICA MINOLTA” にコピーします。

OpenOffice から印刷するときは、「km2550-open.ppd」を使用してください。それ以外の場合は、km2550np.ppd を使用してください。
OpenOffice から印刷する方法については、「OpenOffice の場合」（p.95）をごらんください。

2 メインメニューから「システムツール」→「Terminal」を選択します。

3 “/etc/init.d/cups restart” と入力します。

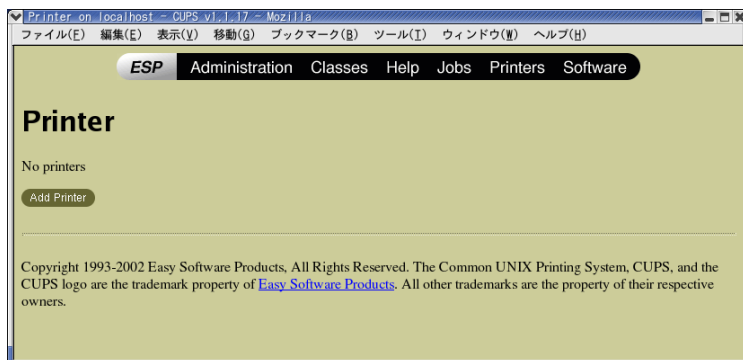
4 Terminal を終了します。

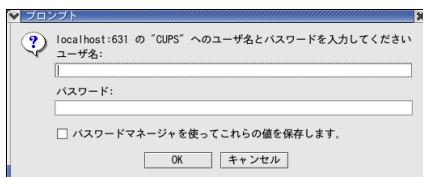
プリンタ追加

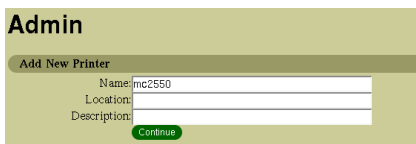
PPD をコピーしたあとは、必ず cups を再起動してください。

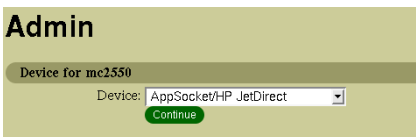
1 ブラウザを起動します。

2 URL に“http://localhost:631”と入力し、［Manage Printers］をクリックします。

CUPS Administration Web Page が表示されます。

3 ［Add Printer］をクリックします。

ポップアップウィンドウが表示されます。

4 ルート権限のユーザー名とパスワードを入力して、［OK］をクリックします。

5 プリンターの名称、設置場所、説明を入力して、［Continue］をクリックします。

6 「Device」リストからデバイスポートを選択して、［Continue］をクリックします。

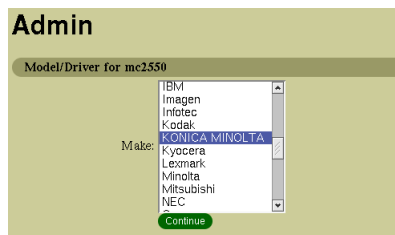
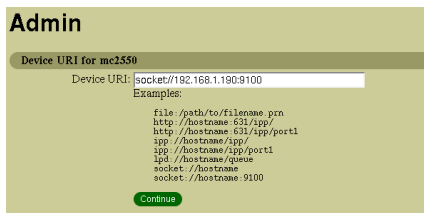
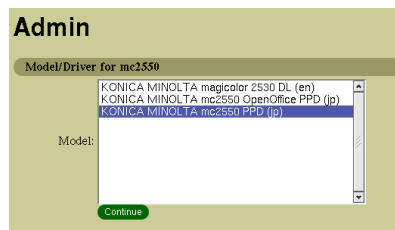
Admin
Device for mc2550
Device: AppSocket/HP JetDirect
Continue

– TCP/IP の場合：「AppSocket/HP JetDirect」を選択
– USB 接続の場合：「USB Printer #1」を選択
– パラレル接続の場合：「Parallel Port #1」を選択

7 USB 接続またはパラレル接続の場合、手順 8 へすすみます。

デバイスの URI を以下の形式で入力します。socket://＜プリンタ名もしくはプリンタの IP アドレス＞［ポート番号］

入力例：
プリンタの IP アドレスの場合：socket://192.168.1.190:9100
プリンタ名の場合：socket://Hostname:9100
プリンタ名は IP アドレスで代用できます。また、ポート番号は省略することができます。

8 ［Continue］をクリックします。

9 「KONICA MINOLTA」を選択して、［Continue］をクリックします。

10 「KONICA MINOLTA magicolor 2550 PPD（jp）」を選択して、［Continue］をクリックします。

以下のメッセージが表示されます。

プリンタドライバの設定

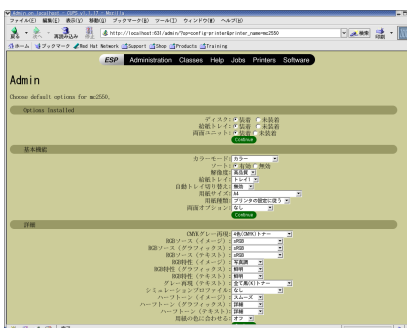
設定ページの表示

1 ブラウザを起動します。

2 URL に“http://localhost:631”と入力し、［Manage Printers］をクリックします。

設定ツールのプリンタ管理用 Web ページが表示されます。

3 ［Configure Printer］をクリックします。

プリンタドライバの設定ページが表示されます。

設定項目

Options Installed

項目	設定内容
ディスク	オプションのハードディスクを装着しているかどうかを選択します。
給紙トレイ	オプションの給紙トレイを装着しているかどうかを選択します。
両面ユニット	オプションの両面ユニットを装着しているかどうかを選択します。

基本機能

項目	設定内容
カラーモード	印刷する時の色を**カラー**、**グレースケール**から指定します。 ・デフォルトの設定は**カラー**です。
ソート	**有効**が選択されている場合、文書が丁合いされて印刷されます。 ・デフォルトの設定は**有効**です。
解像度	印刷時の画像解像度を**高品質**、**標準**から指定します。 ・デフォルトの設定は**高品質**です。
給紙トレイ	給紙元を **Auto**、**トレイ 1**、**トレイ 2** から選択します。 ・デフォルトの設定は**トレイ 1** です。
自動トレイ切り替え	**有効**が選択されている場合、指定した給紙トレイの用紙がなくなったときに、自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。 ・デフォルトの設定は**無効**です。
用紙サイズ	用紙のサイズを指定します。
用紙種類	用紙の種類を指定します。
両面のオプション	両面印刷したときの綴じる方向を**なし**、**短辺を綴じる**、**長辺を綴じる**から選択します。 ・デフォルトの設定は**なし**です。

詳細

項目	設定内容
CMYK グレー再現	黒色とグレーの再現方法を **4 色（CMYK）トナー**、**全て黒（K）トナー**、**単色（ブラック）のみ**から選択します。 ・デフォルトの設定は **4 色（CMYK）トナー**です。
RGB ソース（イメージ）	画像の RGB カラープロファイルを **Adobe RGB (1998)**、**Apple RGB**、**ColorMatch RGB**、**sRGB**、**なし**、**青の RGB 調整**から選択します。 ・デフォルトの設定は **sRGB** です。
RGB ソース（グラフィックス）	グラフィックスの RGB カラープロファイルを **Adobe RGB (1998)**、**Apple RGB**、**ColorMatch RGB**、**sRGB**、**なし**、**青の RGB 調整**から選択します。 ・デフォルトの設定は **sRGB** です。
RGB ソース（テキスト）	テキストの RGB カラープロファイルを **Adobe RGB (1998)**、**Apple RGB**、**ColorMatch RGB**、**sRGB**、**なし**、**青の RGB 調整**から選択します。 ・デフォルトの設定は **sRGB** です。
RGB 特性（イメージ）	画像の RGB 特性を**完全一致**、**写真調**、**色の一致**、**鮮明**から選択します。 ・デフォルトの設定は**写真調**です。
RGB 特性（グラフィックス）	グラフィックスの RGB 特性を**完全一致**、**写真調**、**色の一致**、**鮮明**から選択します。 ・デフォルトの設定は**鮮明**です。
RGB 特性（テキスト）	テキストの RGB 特性を**完全一致**、**写真調**、**色の一致**、**鮮明**から選択します。 ・デフォルトの設定は**鮮明**です。
グレー再現（テキスト）	テキストの黒色とグレーの再現方法を **4 色（CMYK）トナー**、**全て黒（K）トナー**、**単色（ブラック）のみ**から選択します。 ・デフォルトの設定は**全て黒（K）トナー**です。
シミュレーションプロファイル	RGB カラープロファイルを **Commercial Press**、**DIC**、**Euroscale** 、**SWOP**、**TOYO**、**なし**から選択します。 ・デフォルトの設定は**なし**です。

項目	設定内容
ハーフトーン（イメージ）	画像の中間色の再現方法を**詳細**、**スムーズ**から選択します。 ・デフォルトの設定は**スムーズ**です。
ハーフトーン（グラフィックス）	グラフィックスの中間色の再現方法を**詳細**、**スムーズ**から選択します。 ・デフォルトの設定は**詳細**です。
ハーフトーン（テキスト）	テキストの中間色の再現方法を**詳細**、**スムーズ**から選択します。 ・デフォルトの設定は**詳細**です。
用紙の色に合わせる	**オン**が選択されている場合、下地色を印刷します。 ・デフォルトの設定は**オフ**です。

Banners

項目	設定内容
Starting Banner	開始バナーを **none**、**classified**、**confidential**、**secret**、**standard**、**topsecret**、**unclassified** から選択します。 ・デフォルトの設定は **none** です。
Ending Banner	終了バナーを **none**、**classified**、**confidential**、**secret**、**standard**、**topsecret**、**unclassified** から選択します。 ・デフォルトの設定は **none** です。

文書を印刷する

アプリケーションによって、印刷ダイアログおよび印刷設定ダイアログの内容が異なります。

LPR コマンドを使用する場合

OpenOffice 以外の場合、下記の印刷ダイアログが表示されます。

1 印刷ダイアログの［プロパティ］をクリックします。

2 印刷プロパティダイアログが表示されます。

3 印刷コマンドの入力欄に“lpr -p”と入力して、プリンタ名を追加し、［OK］をクリックします。
印刷ダイアログに戻ります。

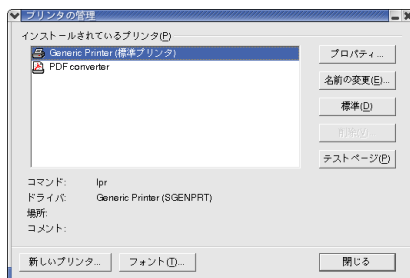
4 印刷ダイアログで［印刷］をクリックして、文書を印刷します。

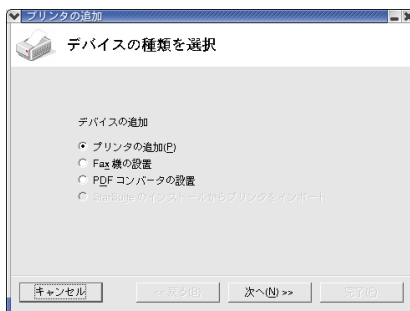
OpenOffice の場合

下記は、Red Hat 9 上で OpenOffice 1.0.2 を使用した場合の手順です。お使いの OS のバージョンによっては下記の手順と操作が異なる場合があります。

あらかじめ km2550-open.ppd を使用して、システムに OpenOffice 用のプリンタを追加しておいて下さい。プリンタをシステムに追加する方法については、「プリンタ追加」（p.88）をごらんください。

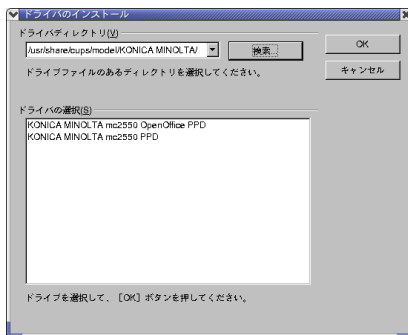
1 メインメニューから「オフィス」→「OpenOffice .org のプリンター設定」を選択します。

プリンタの管理ダイアログが表示されます。

2 ［新しいプリンタ］をクリックします。

プリンタの追加ダイアログが表示されます。

3 ［プリンタの追加］が選択されていることを確認して、［次へ］をクリックします。

プリンタの選択ダイアログが表示されます。

4 ［インポート］をクリックします。

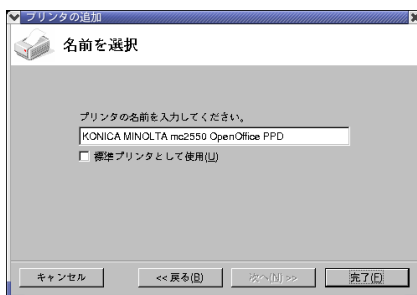
ドライバのインストールダイアログが表示されます。

5 ドライバのディレクトリに“usr/share/cups/model/KONICA MINOLTA/”と入力します。

6 ［ドライバの選択］リストから、「KONICA MINOLTA mc2550 OpenOffice.PPD」を選択します。

7 ［OK］をクリックします。

8 KONICA MINOLTA mc2550 OpenOffice.PPD を選択して、［次へ］をクリックします。

9 コマンドラインに“lpr -p”と入力して、OpenOffice 用に作成したプリンタの名前を追加し、［次へ］をクリックします。

10 プリンタ名を変更します。

11 ［完了］をクリックします。プリンタの管理ダイアログに戻ります。

12 ［閉じる］をクリックします。

13 メインメニューから「オフィス」→「OpenOffice.org Writer」を選択します。

14 OpenOffice のメニューから［印刷］をクリックします。

印刷ダイアログが表示されます。

15 OpenOffice .org のプリンター設定で登録したプリンタの名前を選択します。

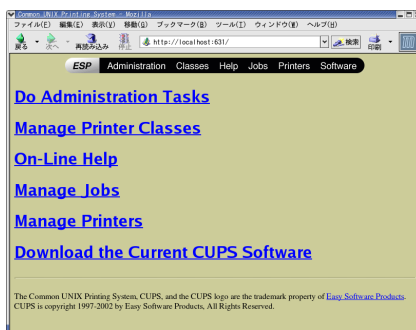
16 ［OK］をクリックします。

印刷ジョブの確認

ブラウザからプリントジョブを確認することができます。

1 ブラウザを起動します。

2 URL に“http://localhost:631”と入力します。

CUPS Administration Web Page が表示されます。

3 ［Manage Jobs］をクリックします。

現在の有効なジョブが表示されます。

印刷を終了したジョブを確認するときは、［Show Complete Jobs］をクリックします。

トラブルシューティング

症状	対応・処置
プリンタがサイズエラーもしくはタイプエラーで止まってしまう。	ペーパーサイズとメディアタイプなどが禁止されている組み合わせで送信されている可能性があります。はがきや OHP は普通紙モードでは印字できません。
カスタムペーパーサイズで印字できない。	カスタムペーパーサイズはドライバから直接印字できません。コマンドラインからのみの印字をサポートしています。以下の様に指定することによりデータを印字できます。lpr -P［プリンタ名］-o media=Custom.［WIDTH × LENGTH］［ファイル名］ 1. Custom.［WIDTH × LENGTH ］のフォーマット：Custom.150 × 200 mm、Custom.8 × 11 in、Custom.15 × 20 cm、Custom.612 × 782（postscript ポイント） 2. データのファイル形式は PS、PDF、JPEG が対応
OpenOffice やその他オフィス系アプリケーション（Kword など）で正しく印字できないことがある。	Linux 上のアプリケーションはアプリケーション自体が印字に関する設定を独自に持っています。これらの中には本プリンタでサポートされていない機能もあります。以下のように設定場所を使い分けてください。 ■ アプリケーションから設定する項目：用紙サイズ、オリエンテーション ■ プリンタドライバ GUI（kprinter）から設定する項目：用紙タイプ、トレイ、解像度指定など上記以外
Kword で Watermark が印字できない。	Kword のバグです。オーバーレイをご使用ください。

Crown プリントモニタ + の使い方

4

Crown プリントモニタ + のインストール後に Crown ポートを追加する

Crown プリントモニタ + のインストールが終了した後でも、以下の手順で新しい Crown ポートを追加することができます。

以下の説明では、Crown プリントモニタ + がすでにコンピュータにインストールされているものとします。インストール方法は、インストレーションガイドをご覧ください。

Windows XP/2000/NT4.0 の場合

1 「スタート」—「設定」—「プリンタ」を選択します。

2 プリンタのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

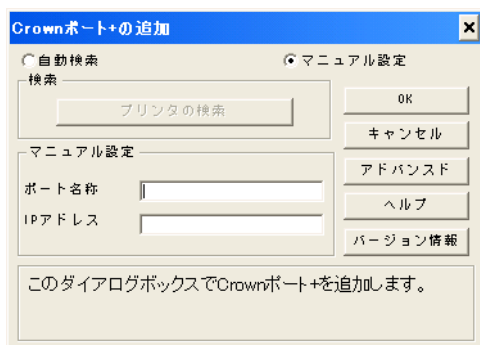
プリンタのプロパティ画面が表示されます。

3 「ポート」タブを選択します。

4 「ポートの追加」ボタンをクリックします。

「プリンタポート」画面が表示されます。

5 「利用可能なプリンタポート」リストから「Crown Port+」を選択し、「新しいポート」ボタンをクリックします。

「Crown ポート + の追加」画面が表示されます。

6 「IP アドレス」テキストボックスに、プリンタの IP アドレスを入力します。

このアドレスは、一意的なホスト名、またはプリンタのドット表記識別子（IP アドレス）を入力してください。

本プリンタでは、プリンタの検索機能はサポートしません。

7 「ポート名称」テキストボックスに、ポートの論理名を入力します。

ポートの論理名は、ポートの記述識別子です。各ポート名は一意的でなければなりません。

ポート名は、最大 128 文字まで入力できます。

「IP アドレス」テキストボックスに何も入力しなかった場合、「ポート名称」テキストボックスに入力した文字列が「IP アドレス」テキストボックスにもそのまま入力されます。必要に応じて、それぞれの値を変更してください。

8 「OK」ボタンをクリックします。

「アドバンスド」ボタンをクリックすると、「CrownPort の詳細設定」画面が表示され、Crown ポートの詳細な設定が行えます。詳しくは、「Crown ポートの詳細設定」（p.105）をごらんください。

9 「プリンタポート」画面で「閉じる」ボタンをクリックします。

10 プリンタのプロパティ画面で「OK」ボタンをクリックします。

Windows Me/98SE の場合

1 「スタート」—「設定」—「プリンタ」を選択します。

2 プリンタのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

プリンタのプロパティ画面が表示されます。

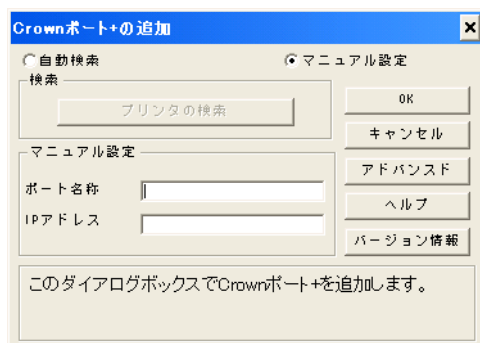
3 「詳細」タブを選択します。

4 「ポートの追加」ボタンをクリックします。

「ポートの追加」画面が表示されます。

5 「その他」を選択し、「追加するポートの種類」リストから「Crown Port+」を選択します。

6 「OK」ボタンをクリックします。

「Crown ポート + の追加」画面が表示されます。

7 「IP アドレス」テキストボックスに、プリンタの IP アドレスを入力します。

このアドレスは、一意的なホスト名、またはプリンタのドット表記識別子（IP アドレス）を入力してください。

本プリンタでは、プリンタの検索機能はサポートしません。

8 「ポート名称」テキストボックスに、ポートの論理名を入力します。

ポートの論理名は、ポートの記述識別子です。各ポート名は一意的でなければなりません。

ポート名は、最大 128 文字まで入力できます。

「IP アドレス」テキストボックスに何も入力しなかった場合、「ポート名称」テキストボックスに入力した文字列が「IP アドレス」テキストボックスにもそのまま入力されます。必要に応じて、それぞれの値を変更してください。

9 「OK」ボタンをクリックします。

「アドバンスド」ボタンをクリックすると、「CrownPort の詳細設定」画面が表示され、Crown ポートの詳細な設定が行えます。詳しくは、「Crown ポートの詳細設定」（p.105）をごらんください。

10 プリンタのプロパティ画面で「OK」ボタンをクリックします。

Crown ポートの詳細設定

「CrownPort の詳細設定」画面で、Crown ポートの詳細な設定を行います。

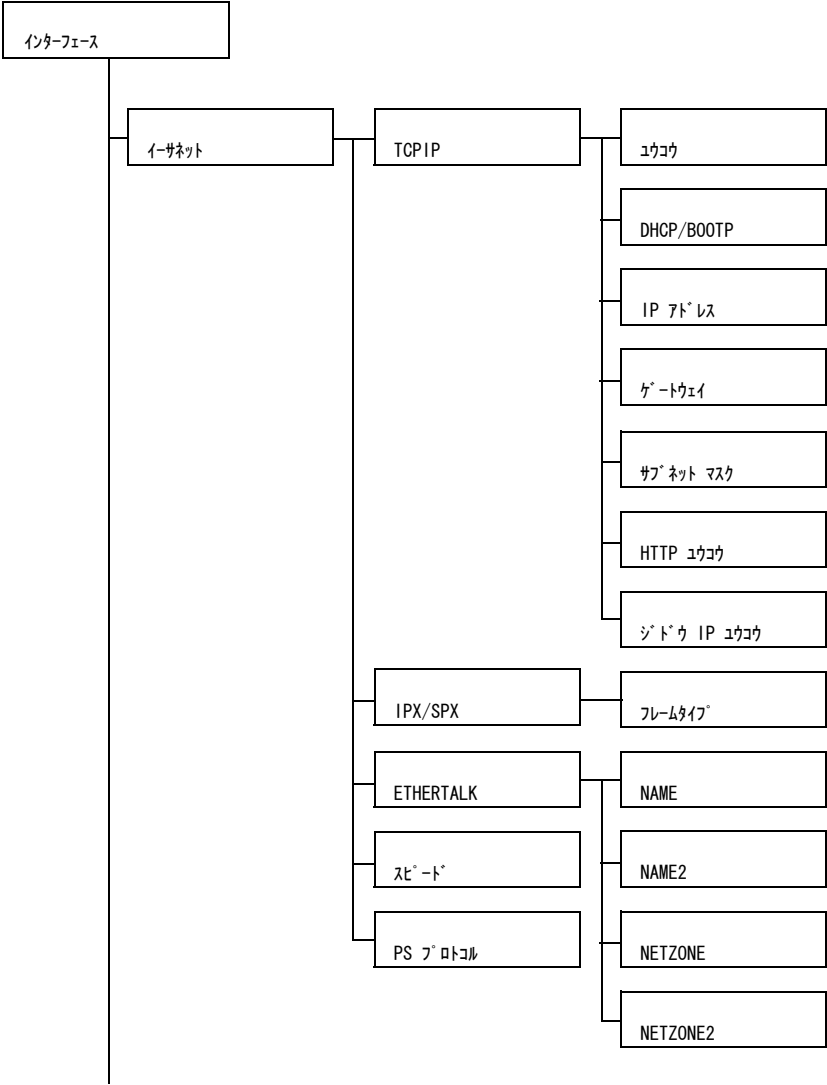
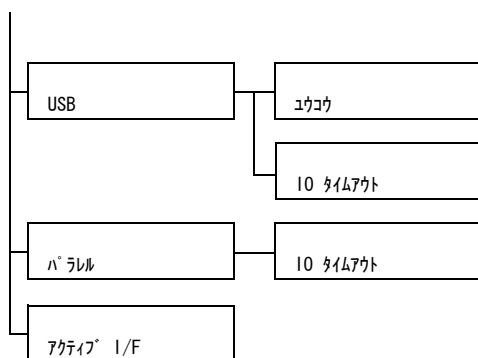
項目	初期設定	機能
ステータス更新間隔	5 秒	このポートに接続されたプリンタのステータス情報で、Crown プリントモニタ + がプリントマネージャを更新する間隔を設定します。
ステータス要求タイムアウト	10 秒	Crown プリントモニタ + がプリントマネージャにプリンタから応答がないことを通知するまでの、プリンタからの応答の待機時間を設定します。
送信要求タイムアウト	60 分	Crown プリントモニタ + が Microsoft プリントスプーラに制御を返すまで、プリントジョブが送信されるのを待機する時間を設定します。 タイマーで設定した時間が経過したときに、ジョブが Windows 2000/NT4 サーバ経由で送信済みの場合は、プリントジョブは自動的に終了し、システムから削除されます。 タイマーで設定した時間が経過したときに、ジョブがワークステーション経由で送信済みの場合は、Windows XP/2000/NT4 の「Print Spooler」ダイアログが現れ、応答の再試行を行うかキャンセルするかの確認メッセージが表示されます。応答を行うかどうかに関係なく、ジョブは終了し、システムから削除されます。

項目	初期設定	機能
ポートの設定	9100	9100 を選択してください。 本プリンタでは、ポート 35 はサポートしません。

イーサネット設定メニューについて

イーサネットメニュー

設定メニューの構成

USB
ﾕｳｺｳ
IO ﾀｲﾑｱｳﾄ
ﾊﾟﾗﾚﾙ
IO ﾀｲﾑｱｳﾄ
ｱｸﾃｨﾌﾞ I/F

イーサネットメニューの表示

プリンタの操作パネルで以下のキー操作を行い、プリンタのイーサネットメニューの設定項目を表示します。このメニューでは、設定可能なネットワークの項目をすべて表示できます。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ｲﾝｻﾂ オプションのハードディスクを装着している場合には： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ﾎｿﾞﾝ / ｲﾝｻﾂ
▷	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ
＊ メニュー 選択 ↵	ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ ｲｰｻﾈｯﾄ
＊ メニュー 選択 ↵	

イーサネットメニューの設定項目

プリンタがネットワーク接続されている場合は、以下の項目を設定する必要があります。各設定項目の詳細については、ネットワーク管理者に相談してください。

手動で IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを設定する場合は、はじめに DHCP/BOOTP の設定を「ｲｲｴ」にしてください。

TCP/IP

有効

目的	TCP/IP を有効にするかどうかを設定します。
設定値	ﾊｲ / ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

DHCP/BOOTP

目的	ネットワーク内に DHCP サーバまたは BOOTP サーバがある場合に、DHCP サーバまたは BOOTP サーバから自動的に IP アドレスを取得、また他のネットワーク情報をロードするかどうかを設定します。
設定値	ﾊｲ / ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

IP アドレス

目的	本プリンタのネットワーク上の IP アドレスを設定します。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	192.168.001.002

ゲートウェイ

目的	ネットワーク上にルータ／ゲートウェイがあり、サブネットを越えた先のネットワーク上のユーザからもプリンタを利用できるようにする場合に、ルータ／ゲートウェイのアドレスを設定します。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	000.000.000.000

サブネット マスク

目的	ネットワークのサブネットマスク値を設定します。サブネットマスクを使用して、プリンタの利用可能な範囲を制限することができます（例えば、部署ごとに範囲を設定できます）。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	000.000.000.000

HTTP 有効

目的	HTTP を有効にするかどうかを設定します。
設定値	ﾊｲ / ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

自動 IP 有効

目的	自動 IP を有効にするかどうかを設定します。
設定値	ﾊｲ / ｲｲｴ
初期値	ｲｲｴ

IPX/SPX

フレームタイプ

目的	NetWare 上で使用するプロトコルを設定します。
設定値	ｼﾞﾄﾞｳ / 802.2 / 802.3 / ETHER II / SNAP
初期値	ｼﾞﾄﾞｳ

ETHERTALK

NAME

目的	Macintosh の EtherTalk を使用する場合に表示されるプリンタ名を設定します。
設定値	半角 16 文字以下
初期値	magicolor 2550

NAME2

目的	Macintosh の EtherTalk を使用する場合に表示されるプリンタ名を設定します。
設定値	半角 16 文字以下
初期値	（空白）

NETZONE

目的	Macintosh の EtherTalk ゾーン名を設定します。
設定値	半角 16 文字以下
初期値	＊

NETZONE2

目的	Macintosh の EtherTalk ゾーン名を設定します。
設定値	半角 16 文字以下
初期値	（空白）

スピード

目的	ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式の設定ができます。
設定値	ｼﾞﾄﾞｳ / 100 FULL DUPLEX / 100 HALF DUPLEX / 10 FULL DUPLEX / 10 HALF DUPLEX
初期値	ｼﾞﾄﾞｳ

PS プロトコル

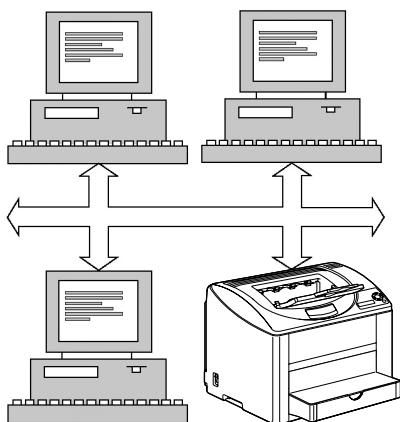
目的	ポストスクリプトのジョブを受信するプロトコルを設定します。
設定値	ﾊﾞｲﾅﾘ / ｸｵｰﾃｯﾄﾞﾊﾞｲﾅﾘ
初期値	ﾊﾞｲﾅﾘ

ネットワーク印刷

ネットワーク接続

概念図

プリンタを TCP/IP ネットワークに接続するには、内部ネットワークアドレスをプリンタに設定しておく必要があります。

多くの場合、他で使用されていない IP アドレスのみを入力します。ただし、ネットワーク環境によっては、サブネットマスク／ゲートウェイ（ルータ）アドレスも入力する必要があります。

接続方法

イーサネット接続の場合

標準イーサネットインターフェースは RJ45 コネクタで、伝送速度が 10 ～ 100 メガビット／秒（Mbit/s）です。

プリンタをイーサネットネットワークに接続するときは、プリンタの IP（Internet Protocol）アドレスの設定方法によって、操作手順が異なります。プリンタの工場出荷時には、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが設定されています。

- IP アドレス：TCP/IP ネットワーク上で各デバイスを識別する固有の値
- サブネットマスク：IP アドレスが属するサブネットを判断するために使用されるフィルタ
- ゲートウェイ：サブネットを越えて通信する場合に最初に経由する、ネットワーク上のノード（機器）

ネットワーク上にある各コンピュータとプリンタの IP アドレスは固有のアドレスでなければならないため、通常プリンタの初期設定のアドレスを変更して、そのネットワークや周りのネットワーク上にある他の機器の IP アドレスとコンフリクト（競合）しないようにする必要があります。2 種類の方法のいずれかでその変更を行うことができます。それぞれの方法について、以下に詳しく説明します。

- DHCP を使用する場合
- アドレスを手動設定する場合

DHCP を使用する場合

お使いのネットワークで DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使用している場合は、プリンタの電源をオンにすると、DHCP サーバによってプリンタの IP アドレスが自動的に割り当てられます。（DHCP の説明については、「ネットワーク印刷」（p.122）を参照してください。）

DHCP が使用可能になっていない場合は、「ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ － ｲｰｻﾈｯﾄ － TCPIP － DHCP/BOOTP」メニューで「ﾊｲ」を選択してください。

1 プリンタをネットワークに接続します。

イーサネットケーブルのコネクタ（RJ45）を、プリンタのインターフェースパネルのイーサネットポートに差し込んで、プリンタをネットワークに接続します。

2 コンピュータとプリンタの電源をオンにします。

3 プリンタのメッセージ画面に「ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ」と表示されたら、プリンタドライバをインストールします。

アドレスを手動設定する場合

以下の方法で、プリンタの IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを手動で設定変更することができます。(詳しくは、第 5 章 “ イーサネット設定メニューについて ” を参照してください。)

手動で IP を設定する場合は「ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ － ｲｰｻﾈｯﾄ － TCPIP － DHCP/BOOTP」で「ｲｲｴ」を選択してください。
また、IP アドレスを変更した場合は、あらたにポートを追加するか、プリンタドライバを再インストールしてください。

ご注意

プリンタの IP アドレスを変更する場合は、必ずネットワーク管理者に連絡してください。

1 コンピュータとプリンタの電源をオンにします。

2 プリンタのメッセージ画面に「ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ」と表示されたら、IP アドレスの設定を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ｲﾝｻﾂ オプションのハードディスクを装着している場合には： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ﾎｿﾞﾝ / ｲﾝｻﾂ
▷	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ
＊ メニュー 選択 ↵	ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ ｲｰｻﾈｯﾄ
＊ メニュー 選択 ↵	ｲｰｻﾈｯﾄ TCPIP
＊ メニュー 選択 ↵	TCPIP ﾕｳｺｳ
▷	TCPIP IP ｱﾄﾞﾚｽ
＊ メニュー 選択 ↵	IP ｱﾄﾞﾚｽ 192.168.001.002
◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 △ 、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
＊ メニュー 選択 ↵	IP ｱﾄﾞﾚｽ xxx.xxx.xxx.xxx

3 ゲートウェイとサブネットマスクを設定しない場合は、手順 5 にすすんでください。

ゲートウェイを設定せずにサブネットマスクを設定する場合は、手順 4 にすすんでください。

ゲートウェイを設定する場合は、以下の操作を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
▷	TCPIP ｹﾞｰﾄｳｪｲ
★ メニュー 選択 ↵	ｹﾞｰﾄｳｪｲ 000.000.000.000
◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 △ 、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
★ メニュー 選択 ↵	ｹﾞｰﾄｳｪｲ xxx.xxx.xxx.xxx

4 サブネットマスクを設定しない場合は、手順 5 にすすんでください。

サブネットマスクを設定する場合は、以下の操作を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
▷	TCPIP ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
★ メニュー 選択 ↵	ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ 000.000.000.000
◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 △ 、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
★ メニュー 選択 ↵	ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ xxx.xxx.xxx.xxx

5 設定変更を保存し、プリンタを印刷可能な状態に戻します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
△	キーを 4 回押して、以下の表示に戻します。 ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ

6 設定リストページを印刷し、IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクが正しく設定されているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ｲﾝｻﾂ オプションのハードディスクを装着している場合には： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ﾎｿﾞﾝ / ｲﾝｻﾂ
▷	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ｲﾝｻﾂ
＊ メニュー 選択 ↵	ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ ﾏｯﾌﾟ
▷	ｲﾝｻﾂ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ
＊ メニュー 選択 ↵	ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ ﾊｲ

7 プリンタドライバをインストールします。

ネットワーク印刷

ここでは、ネットワーク印刷に関する用語を説明します。

- AppleTalk
- Bonjour
- BOOTP
- DHCP
- HTTP
- IPP
- IPX/SPX
- LPD/LPR
- NetBEUI
- Port 9100
- SLP
- SMB
- SMTP
- SNMP

本章では、これらのネットワーク印刷に関する用語と、IPP 印刷の方法について説明します。

AppleTalk

AppleTalk は、Apple 社の Macintosh で使用されている通信プロトコル群の総称です。

Bonjour

Bonjour は、ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う、Macintosh のネットワーク技術です。以前は Rendezvous と呼ばれていましたが、Mac OS X v10.4 から Bonjour と名称変更されました。

BOOTP

BOOTP（Bootstrap Protocol）は、ディスクレスクライアントが、自己の IP アドレス、ネットワーク上の BOOTP サーバの IP アドレス、
起動するためにメモリにロードするファイルを取得できるようにするインターネットプロトコルです。BOOTP により、クライアントは、ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブがなくても起動できるようになります。

DHCP

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）は、動的 IP アドレスをネットワーク上のデバイスに割り当てるプロトコルです。動的 IP アドレスを使用するため、デバイスはネットワークに接続するたびに異なる IP アドレスを取得することもあります。システムによっては、デバイスがネットワークに接続され続けていても IP アドレスが途中で変わることもあります。また、DHCP は固定 IP アドレスと動的 IP アドレスの両方が存在する環境にも対応しています。動的アドレスを使用すると、ソフトウェアが IP アドレスの情報を把握するため、ネットワーク管理者が IP アドレスの管理を行うよりも、ネットワーク管理が簡単になります。例えば、固有の IP アドレスを手動で割り当てる手間をかけずに、新しいデバイスをネットワークに追加することができます。

HTTP

HTTP（HyperText Transfer Protocol）は、ワールドワイドウェブ（WWW）で使用されている基礎となるプロトコルです。HTTP では、メッセージの書式、送信方法や、各種コマンドに対する Web サーバとブラウザの動作が規定されています。例えば、ブラウザで URL を入力すると、実際には、要求した Web ページの取得と送信を指示する HTTP コマンドがその Web サーバに送られます。

IPP

IPP（Internet Printing Protocol）は、インターネット経由での印刷を行うプロトコルです。IPP により、ユーザは、プリンタの機能の確認、プリンタへのプリントジョブの送信、プリンタやプリントジョブの状況確認、送信済みのプリントジョブのキャンセルが可能です。

IPP の使用方法についての詳細は、「IPP（Internet Printing Protocol）印刷－Windows XP/Server 2003/2000」（p.126）を参照してください。

IPX/SPX

IPX/SPX (Internetwork Packet Exchange/Sequenced Packet Exchange) は、Novel 社により開発されたネットワークプロトコルです。TCP/IP が普及する以前の一般的な LAN プロトコルで、主に NetWare 環境で使用されていました。

LPD/LPR

LPD/LPR（Line Printer Daemon/Line Printer Request）は、TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコルです。もともと BSD UNIX 用に開発されましたが、一般のコンピュータでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっています。

NetBEUI

NetBEUI (NetBIOS Extended User Interface) は、IBM 社により開発されたネットワークプロトコルです。コンピュータ名を設定するだけで、小規模なネットワークを構築できます。

Port 9100

ネットワーク経由で印刷をする場合、TCP/IP の port 番号 9100 を利用して raw データを送信することができます。

SLP

従来は、ネットワーク上のサービスの場所を確認するためには、利用したいサービスを提供しているコンピュータのホスト名やネットワークアドレスをユーザが入力する必要がありました。そのために多くの管理上の問題が発生しました。

ところが、SLP を使用して、いくつかのネットワークサービスを自動化することにより、プリンタなどのネットワークリソースを簡単に確認、利用できるようになりました。

SLP のユーザはネットワークのホスト名を把握しておく必要がなくなり、代わりに、利用したいサービスの内容のみを知っておくだけでよくなりました。さらに、SLP は利用したいサービスの URL を返すこともできます。

ユニキャスト、マルチキャスト、ブロードキャスト

SLP はユニキャストとマルチキャストに対応したプロトコルです。つまり、メッセージは一度に 1 エージェントに送信されるか（ユニキャスト）、受信可能な全エージェントに同時に送信されます（マルチキャスト）。ただし、マルチキャストはブロードキャストとは異なります。理論上は、ブロードキャストメッセージはネットワーク上のすべてのノード（機器）に届きます。マルチキャストメッセージはマルチキャストグループに入っているノード（機器）にしか届かないという点で、ブロードキャストとは異なります。

ネットワーク上のルータはほとんどブロードキャストデータを通過させません。つまり、サブネット上から発信されたブロードキャストはルーティングされないか、またはそのルータに接続された他のどのサブネットにも転送されません（ルータ側から見ると、1 つのサブネットは、ルータのポートに接続されたすべてのコンピュータになります）。

これに対し、マルチキャストはルータによって転送されます。あるグループから発信されたマルチキャストのデータは、そのグループ用のマルチキャストデータを受信可能なコンピュータが 1 台以上あるサブネットすべてに、ルータから転送されます。

SMB

SMB（Server Message Block）は Windows 環境でファイルやプリンタなど、ネットワーク上のリソースを共有するためのプロトコルです。

Linux や UNIX などで、Samba というサーバーソフトウェアを利用すると、SMB を使ったサービスを提供することができます。

SMTP

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）は、電子メールをやりとりするためのプロトコルです。

もともとはサーバ同士でメールをやり取りするために使われていましたが、現在は電子メールクライアントソフトウェアが、POP を使用してサーバにメールを送信するためにも利用されています。

SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）は、複雑なネットワークを管理するプロトコルの集合です。SNMP は、ネットワークのいろいろな場所にメッセージを送信して動作します。SNMP 対応のデバイス（エージェントと呼ばれます）は、そのデバイスに関するデータを MIB（Management Information Bases）に記録し、そのデータを SNMP リクエスタに返します。

IPP（Internet Printing Protocol）印刷ー Windows XP/ Server 2003/2000

「プリンタの追加」ウィザードからの IPP ポートの追加

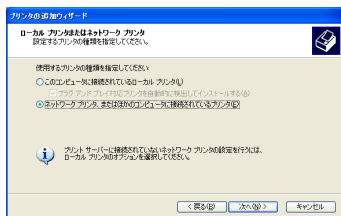
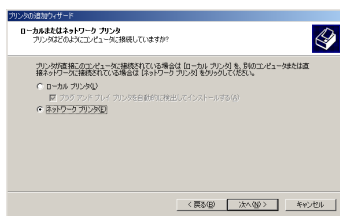
■ Windows XP Home Edition の場合 :［スタート］ボタンをクリックし、「コントロールパネル」から「プリンタとその他のハードウェア」ー「プリンタと FAX」を選択します。次に「プリンタのインストール」をクリックします。

■ Windows XP Professional/Server 2003 の場合 :［スタート］ボタンをクリックし、「プリンタと FAX」を選択します。次に「プリンタのインストール」をクリックします。

■ Windows 2000 の場合 :［スタート］ボタンをクリックし、「設定」から「プリンタ」を選択します。次に「プリンタの追加」をダブルクリックします。

1 画面が表示されたら［次へ］をクリックします。

2 「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」（Windows XP/Server 2003 の場合）、または「ネットワークプリンタ」（Windows 2000 の場合）を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows XP/Server 2003

Windows 2000

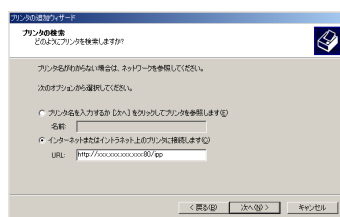
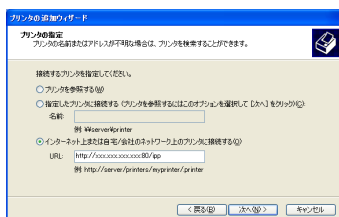
3 「URL」に以下のいずれかの形式でプリンタのネットワークパス名を入力し、［次へ］をクリックします。

■ http://IP アドレス /ipp

■ http://IP アドレス :80/ipp

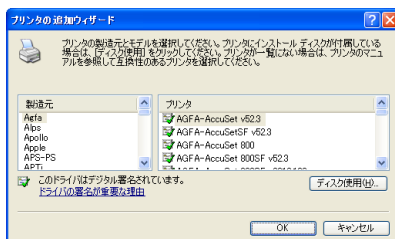
■ http://IP アドレス :631/ipp

 Windows 2000 では、ポート 631 はサポートしません。

Windows XP/Server 2003 Windows 2000

- Windows XP/Server 2003 :「プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報を参照するには、[ヘルプ] をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックして前の画面に戻り、有効なパス名を入力しなおしてください。
- Windows 2000 :「プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報については [ヘルプ] をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックして前の画面に戻り、有効なパス名を入力しなおしてください。

4 Windows XP/Server 2003 の場合 : 手順 4 にすすんでください。

Windows 2000 の場合 : 手順 2 で有効なパス名を入力すると、「KONICA MINOLTA magicolor 2550 プリンタが接続されているサーバーに正しいプリンタドライバがインストールされていません。ローカルコンピュータにドライバをインストールする場合は [OK] をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。これはプリンタドライバがまだインストールされていないためです。[OK] をクリックします。

5 [ディスク使用] をクリックし、CD-ROM 内のプリンタドライバファイルがあるフォルダ(例 : drivers\winXP-2K\ps\japanese)を指定し、[OK] をクリックします。

6 プリンタドライバのインストールを完了します。

トラブルシューティング

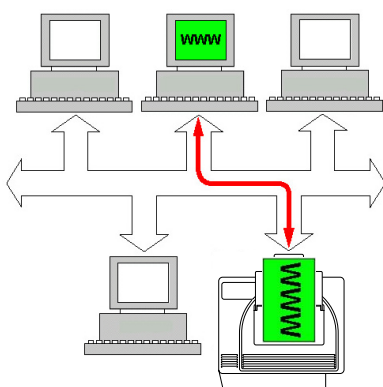
症状	対応処置
SMB 印刷時にうまく印刷できない。	以下の手順で、プリンタをローカルにインストールし直してください。 1. プリンタフォルダからプリンタのアイコンを削除します。 2. プリンタドライバと SMB ポートを、システムから削除します。 3. プリンタの追加ウィザードを使用して、プリンタをローカルプリンタとしてインストールします。このとき、新規にローカルポートを作成し、SMB ポート名を指定してください。
サーバが Windows Server 2003/XP/2000 で、クライアントが Windows NT4.0 のとき、ポイントアンドプリントでクライアント側の一部の機能が使えない。	クライアント側に直接プリンタドライバをインストールしてください。

7

PageScope Web Connectionの使い方

PageScope Web Connection について

PageScope Web Connection は、プリンタに内蔵されている HTTP（Hyper-Text Transfer Protocol）ベースの Web ページで、Web ブラウザを使用してアクセスすることができます。

PageScope Web Connection を使用すると、プリンタのステータス（状況）や、プリンタで頻繁に使用する設定内容をすぐに確認することができます。どなたでも Web ブラウザを使用してネットワーク上のプリンタにアクセスすることができます。また、パスワードを正しく入力すれば、そのコンピュータ上でプリンタの設定を変更することができます。

管理者からパスワードを知らされていないユーザは、設定内容を確認できますが、設定内容を変更できません。

表示言語

PageScope Web Connection 上で表示される言語は、PageScope Web Connection のシステム — 管理 — 言語切り替え画面で設定できます。

動作環境

PageScope Web Connection を使用するには、以下の環境が必要です。

- Windows XP/Server 2003/2000/Me/98SE/NT4.0、Mac OS 9/X、Linux
- Microsoft Internet Explorer バージョン 5.5 以降
  Netscape Navigator バージョン 7.1 以降
  safari バージョン 1.0 以降

  インターネットへ接続する必要はありません。
- お使いのコンピュータに TCP/IP 接続ソフトウェアがインストールされていること（PageScope Web Connection で使用されます）
- お使いのコンピュータとプリンタの両方がネットワークに接続されていること

  ローカル接続（USB もしくはパラレル接続）の場合は、PageScope Web Connection にアクセスできません。コンピュータとプリンタが USB ケーブルで接続されている場合は、ステータスディスプレイを使用してください。

プリンタ内蔵 Web ページの設定

プリンタ内蔵 Web ページをネットワーク上で動作させるためには、以下の 2 つの設定が必要です。

■ プリンタの名前とアドレスを設定します。

■ Web ブラウザ上で「プロキシなし」の設定を行います。

プリンタ名の設定

プリンタの内蔵 Web ページには、以下の 2 種類の方法でアクセスできます。

ネットワークが WINS をサポートしている場合は、WINS 経由でプリンタ名を指定することもできます。

■ プリンタに割り当てられた名前を使用する

プリンタ名はコンピュータ内の IP ホストテーブル（ファイル名は "hosts"）で設定されており、通常システム管理者によって割り当てられます（例 : magicolor 2550）。IP アドレスよりもプリンタ名を使用する方が扱いやすい場合もあります。

コンピュータ内のホストテーブルファイルの場所

- Windows XP/Server 2003 ¥windows¥system32¥drivers¥etc¥hosts
- Windows Me/98SE ¥windows¥hosts
- Windows 2000/NT4.0 ¥winnt¥system32¥drivers¥etc¥hosts

■ プリンタの IP アドレスを使用する

プリンタの IP アドレスは固有の番号であるため、特にネットワーク上で多くのプリンタが動作している場合は、入力する値として識別しやすい場合があります。プリンタの IP アドレスは、設定リストページに記載されています。

プリンタの設定メニュー内の設定リストページの場所

- 「ｲﾝｻﾂ — ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ」メニュー

Web ブラウザの設定

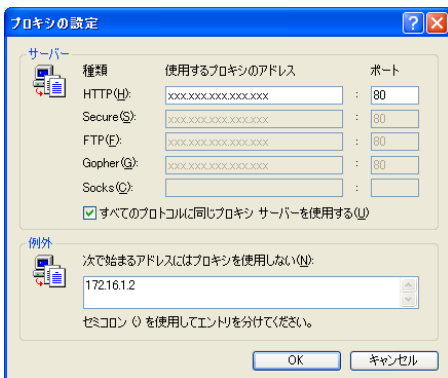
プリンタはイントラネット上にあり、ネットワークのファイアウォールを越えてはアクセスできないため、お使いの Web ブラウザで正しく設定を行う必要があります。Web ブラウザの設定画面の「プロキシなし」のリストにプリンタの名前または IP アドレスを追加する必要があります。

この操作は一度だけ行えば、それ以降は設定の必要ありません。

以下に記載しているサンプル画面は、ソフトウェアのバージョンや使用している OS によって異なる場合があります。

ここでの例では、プリンタの IP アドレスの部分を「xxx.xxx.xxx.xxx」と表しています。必ず上位桁の 0 を入れずにお使いのプリンタの IP アドレスを入力してください。例えば、192.168.001.002 の場合は 192.168.1.2 として入力します。

Internet Explorer（Windows 版バージョン 6.0）

1. Internet Explorer を起動します。
2. 「ツール」メニューから「インターネット オプション」を選択します。
3. 画面の「接続」タブをクリックします。
4. ［LAN の設定］ボタンをクリックして、ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定画面を表示します。
5. プロキシ サーバー内の［詳細設定］ボタンをクリックして、プロキシの設定画面を表示します。
6. 必要に応じて「例外」テキストボックスにお使いのプリンタの名前または IP アドレスを入力します。
7. ［OK］を 3 回クリックして、Web ブラウザのメインウィンドウに戻ります。
8. URL 入力ボックスにプリンタの IP アドレスを入力して、プリンタの Web ページにアクセスします。

Netscape Navigator（バージョン 7.1）

1 Netscape Navigator を起動します。

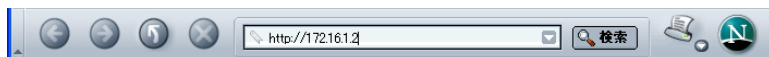
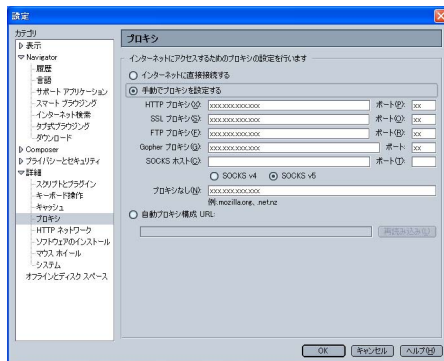
2「編集」メニューから「設定」を選択します。

3 画面の左側の欄から「詳細／プロキシ」ディレクトリを選択します。

4「手動でプロキシを設定する」を選択します。

5「プロキシなし」テキストボックスに、最後のエントリの後にコンマを入力してから、お使いのプリンタの名前または IP アドレスを入力します。

6［OK］をクリックして、Web ブラウザのメインウィンドウに戻ります。

7 URL 入力ボックスにプリンタの名前または IP アドレスを入力して、プリンタの Web ページにアクセスします。

Safari（バージョン 1.2）

1 アップルメニューから「場所」→「ネットワーク環境設定 ...」を選択します。

2 ネットワーク画面の「設定」をクリックします。

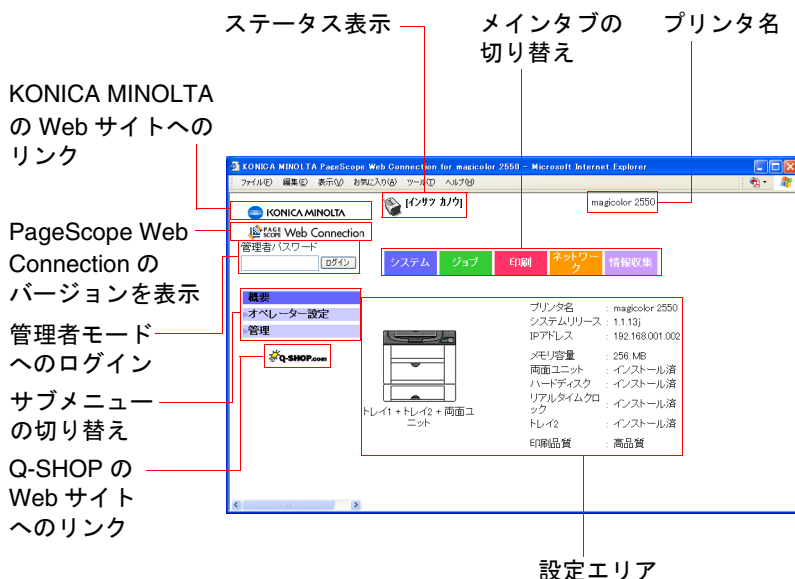
3「プロキシ」タブをクリックします。

4「プロキシ設定を使用しないホストとドメイン」テキストボックスに、お使いのプリンタの名前または IP アドレスを追加します。

5「今すぐ適用」ボタンをクリックします。

6 URL 入力ボックスにプリンタの名前または IP アドレスを入力して、プリンタの Web ページにアクセスします。

PageScope Web Connection ウィンドウについて

以下の画面図では、PageScope Web Connection ウィンドウ内をナビゲーションエリアと設定エリアに分けて説明しています。

操作方法

メインタブとサブメニューを選択すると、選択した設定項目が設定エリアに表示されます。

現在の設定を変更する場合は、現在設定されている値をクリックし、項目の選択や新しい値の入力を行います。

設定変更の適用、保存を行うためには、管理者モードでログインする必要があります。（「管理者モード」（p.136）を参照してください。）

ステータス表示

プリンタの現在の状態（ステータス）は、PageScope Web Connection ウィンドウの上部に常に表示されます。以下のアイコンによって、ステータスの種類を表します。

アイコン	ステータス	説明	例
	レディ	プリンタがオンライン状態で、印刷可能状態または印刷中です。	ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ
	注意	プリンタに注意が必要ですが、印刷は続行可能です。	ｼｱﾝ ﾄﾅｰﾛｰ
	エラー	次に印刷を行う前に注意が必要です。	ｶﾐｿﾞﾏﾘ ﾄﾚｲ 1
	トラブル	プリンタを再起動する必要があります。再起動してもエラーが消えない場合は、修理が必要です。	ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ 04

ユーザモード

PageScope Web Connection を表示すると、自動的にユーザモードの状態になっています。ユーザモードでは設定内容を確認できますが、設定の変更はできません。

管理者モード

PageScope Web Connection 上で設定を変更する場合は、まず管理者モードに入る必要があります。

管理者モードを使用するには、システム — 管理 — セキュリティ画面で、セキュリティ有効をオンにする必要があります。
また、プリンタの操作パネルからも同様の設定ができます。(ｼｽﾃﾑ - ｾｷｭﾘﾃｨ - ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲ - ﾕｳｺｳ)

1 「管理者パスワード」ボックスにパスワードを入力します。

2 ［ログイン］ボタンをクリックします。

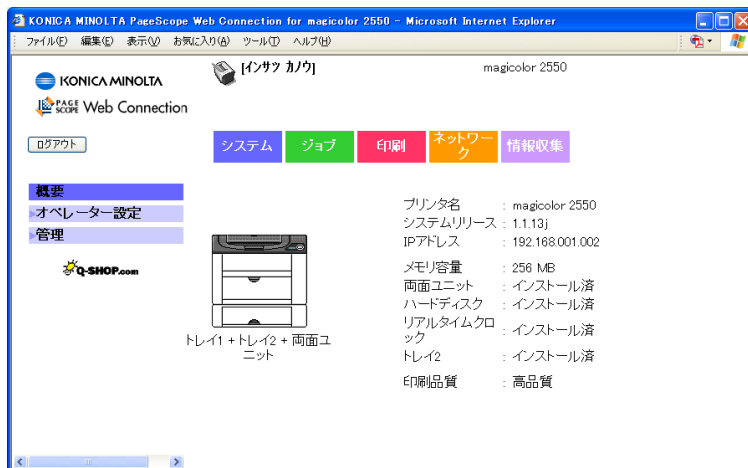
パスワードの初期設定は「SYSADMIN」ですが、管理者モードに入り、システム — 管理 — セキュリティ画面で、このパスワードを変更することができます。

間違ったパスワードを入力すると、「無効なパスワードです。」というメッセージが表示されます。パスワードを入力しなおしてください。

プリンタのステータスの表示と設定

PageScope Web Connection では、プリンタの設定の確認、変更を行うことができます。設定の変更を行うためには、管理者モードに入る必要があります。管理者モードにログインする方法については、「管理者モード」(p.136) を参照してください。

システム画面

システム画面は、プリンタ内蔵の Web ページにアクセスしたときに最初に表示される画面です。この画面では、プリンタのステータス(状態)、現在のシステム構成、プリンタ名、他の設定画面へリンクされたタブやメニューが表示されます。

概要（前ページ画面）

システム — 概要画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
プリンタ名／ステータス	プリンタ名と現在のステータスが表示されます。ステータスアイコンの横には、プリンタの操作パネルのメッセージウィンドウに表示されるのと同じメッセージが表示されます。 ステータス表示によって、プリンタから離れた場所からでもプリンタで発生している問題（用紙切れやトナー切れなど）を確認することができます。
デバイスの状態（プリンタの図）	アクセスしているプリンタのタイプを確認できます。プリンタの図は、装着されているオプションの状態が反映された表示になります。
システムリリース	コントローラファームウェアのバージョンが表示されます。
IP アドレス	プリンタの IP アドレスが表示されます。
メモリ容量	プリンタに装着されているメモリの容量が表示されます。
両面ユニット	オプションの両面プリントユニットが装着されているかどうかが表示されます。
ハードディスク	オプションのハードディスクが装着されているかどうかが表示されます。
リアルタイムクロック	リアルタイムクロックが装着されているかどうかが表示されます。
トレイ 2	オプションのトレイ 2 が装着されているかどうかが表示されます。
印刷品質	プリンタの印刷品質設定が表示されます。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

オペレーター設定

用紙設定

システム — オペレーター設定 — 用紙設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
トレイ 1 切り替えモード	トレイ 1 の設定をプリンタドライバで行うか（自動）、パネルで設定するか（トレイ優先）を選択します。 設定値：自動、トレイ優先 初期値：自動 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ﾖｳｼ － ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ － ﾄﾚｲ 1 ｷﾘｶｴ ﾓｰﾄﾞ
トレイ 1	
用紙のサイズ	トレイ 1 にセットする用紙のサイズを設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ﾖｳｼ － ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ － ﾄﾚｲ 1 － ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ
用紙の種類	トレイ 1 にセットする用紙の種類を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ﾖｳｼ － ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ － ﾄﾚｲ 1 － ﾖｳｼ ﾉ ｼｭﾙｲ

項目	説明
トレイ 2	
用紙のサイズ	トレイ 2 にセットする用紙のサイズを設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ﾖｳｼ － ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ － ﾄﾚｲ 2 － ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ
用紙の種類	トレイ 2 にセットする用紙の種類を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ﾖｳｼ － ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ － ﾄﾚｲ 2 － ﾖｳｼ ﾉ ｼｭﾙｲ
両面印刷モード	両面印刷の設定をします。 設定値：オフ、短辺綴、長辺綴 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ﾖｳｼ － ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ この機能は、オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に利用できます。
印刷方向	印刷方向を縦向きか横向きか設定します。 設定値：縦、横 初期値：縦 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ﾖｳｼ － ﾖｳｼﾎｳｺｳ
ページリカバリー	プリンタが紙詰まりを起こしたとき、紙詰まりを処理した後、印刷されていないページを再印刷するかどうかを設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ﾖｳｼ － ﾍﾟｰｼﾞ ﾘｶﾊﾞﾘｰ
トレイ切り替え	指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合、自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行するかどうかを設定します。 設定値：はい、いいえ 初期値：はい 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ﾖｳｼ － ｷｭｳｼﾄﾚｲ － ﾄﾚｲ ｷﾘｶｴ トレイ切り替えを行うには、オプションのトレイ 2 を装着し、両方のトレイに同じサイズの用紙をセットしてください。自動継続をオンにすれば、異なる用紙サイズでも印刷を継続します。

項目	説明
自動継続	給紙トレイの用紙が印刷指示と異なる用紙サイズや用紙種類の場合、印刷を継続するかどうかを選択します。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ﾖｳｼ － ｷｭｳｼﾄﾚｲ － ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ
カスタム用紙サイズ	
幅	カスタム用紙サイズの幅を設定します。 範囲：92 - 216 mm 初期値：92 mm 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ﾖｳｼ － ｷｭｳｼﾄﾚｲ － ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ － ﾊﾊﾞ (mm)
高さ	カスタム用紙サイズの高さを設定します。 範囲：148 - 356 mm 初期値：148 mm 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ﾖｳｼ － ｷｭｳｼﾄﾚｲ － ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ － ﾀｶｻ (mm)
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。
［カスタム保存］ボタン	現在の設定をカスタム設定として保存します。
［カスタム設定］ボタン	全ての設定をカスタム設定値に変更します。
［初期設定］ボタン	全ての設定を初期設定値に変更します。

トレイマッピング

システム — オペレーター設定 — トレイマッピング画面では、以下の項目を設定できます。

トレイマッピングは、オプションのトレイ 2 を装着している場合に利用できます。

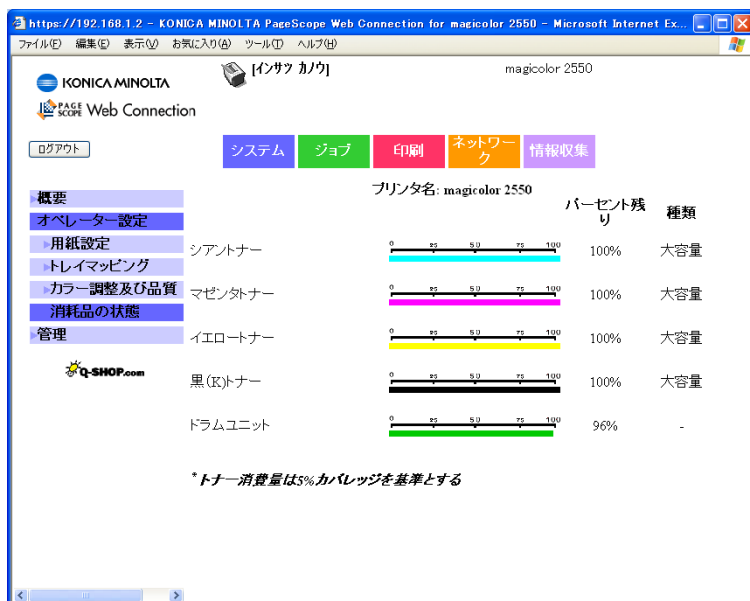
項目	説明
トレイマッピングモード	トレイマッピング機能を使用するかしないかを設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オン 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ﾖｳｼ － ｷｭｳｼﾄﾚｲ － ﾄﾚｲ ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ － ﾓｰﾄﾞ
論理トレイ 0 - 9	論理トレイ番号を物理トレイに割り当てます。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ﾖｳｼ － ｷｭｳｼﾄﾚｲ － ﾄﾚｲ ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ － ﾛﾝﾘ ﾄﾚｲ 0 － 9
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

カラー調整及び品質

システム — オペレーター設定 — カラー調整及び品質画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
印刷品質	印刷時の解像度を設定します。 設定値：高品質、標準 初期値：高品質 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ － ｲﾝｼﾞ ﾋﾝｼﾂ
カラーモード	カラーで出力するかモノクロで出力するかを設定します。 設定値：カラー、モノクロ 初期値：カラー 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ － ｶﾗｰ ﾓｰﾄﾞ
トナー出力動作	トナーが残り少ない場合に、プリンタがジョブを受け入れ続けるか停止させるかを設定します。 設定値：停止、継続 初期値：停止 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ﾋﾝｼﾂ － ﾄﾅｰｼｭﾂﾘｮｸﾄﾞｳｻ

項目	説明
トナー濃度調整	各色（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）のトナー濃度を設定します。設定値が高いほど濃度が濃くなります。 範囲：1 - 5 初期値：3 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ﾋﾝｼﾂ ー ﾄﾅｰ ﾉｳﾄﾞ ﾁｮｳｾｲ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。
［カスタム保存］ボタン	現在の設定をカスタム設定として保存します。
［カスタム設定］ボタン	全ての設定をカスタム設定値に変更します。
［初期設定］ボタン	全ての設定を初期設定値に変更します。

消耗品の状態

システム — オペレーター設定 — 消耗品の状態画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
消耗品	状況を確認できる消耗品が表示されます。
ステータスバー	各消耗品の残りの寿命が図で表示されます。
パーセント残り	各消耗品の残りの寿命がパーセンテージで表示されます。
種類	トナーカートリッジの種類が表示されます。

管理

スタートオプション及びリセット

システム — 管理 — スタートオプション及びリセット画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
節電時間	プリンタを起動させたまま一定時間使用しない場合、節電モードに移行するまでの時間を設定します。 設定値：15 分後、30 分後、1 時間後 初期値：30 分後 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ － ｾﾂﾃﾞﾝ ｼﾞｶﾝ
リセットプリンター	プリンタを再起動します。
プリンタ名	プリンタ名を設定します。 初期値：magicolor 2550

項目	説明
Sysstart	プリンタの電源を入れたときにポストスクリプトフォーマット定義ファイルを適用するかどうかを設定します。 設定値：はい、いいえ 初期値：いいえ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ － ｽﾀｰﾄ ｵﾌﾟｼｮﾝ － SYSSTART
スタートページ	プリンタの電源を入れたときに、スタートページを印刷するかどうかを設定します。 設定値：はい、いいえ 初期値：いいえ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ － ｽﾀｰﾄ ｵﾌﾟｼｮﾝ － ｽﾀｰﾄ ﾍﾟｰｼﾞ
リセット	プリンタの設定をリセットします。 設定値：なし、初期設定、カスタム保存、カスタム設定 初期値：なし 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ － ﾒﾆｭｰ ｾｯﾃｲｼｮｷｶ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

言語切り替え

システム — 管理 — 言語切り替え画面では、以下の項目を設定できます。

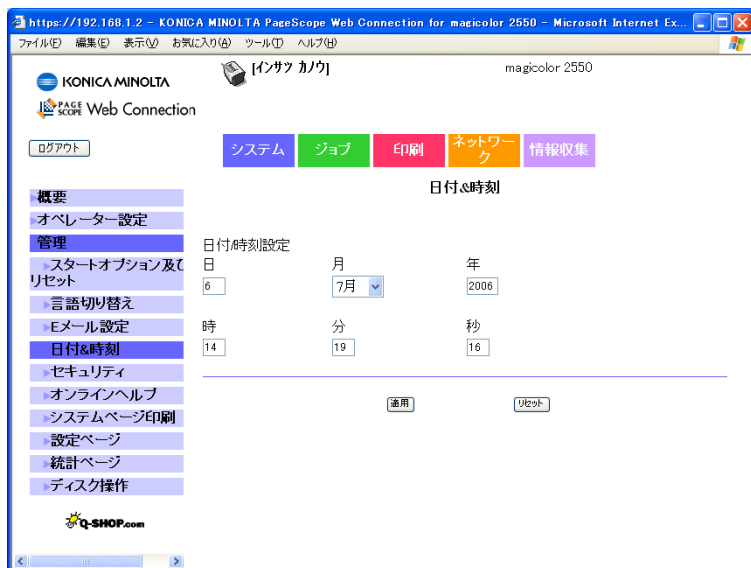
項目	説明
操作パネルの言語	プリンタ操作パネルの表示言語を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｹﾞﾝｺﾞ ｷﾘｶｴ
PSWC 言語	PageScope Web Connection の言語を設定します。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

E メール設定

システム — 管理 — E メール設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
差出	電子メールの差出のアドレスを指定します。 初期値：（空白） メールアドレスはRFCの形式規格に従って入力してください。 name@domain_name カンマ、セミコロン、コロン、スペースは使用できません。
宛先	電子メールの宛先のアドレスを指定します。 初期値：（空白）
件名	電子メールに付加する件名を指定します。 初期値：（空白）
エラー発生時に E メール通知を行う	エラー発生時に E メール通知を行うまでの時間を設定します。 設定値：オフ、1 分、30 分後、1 時間後、テスト 初期値：オフ
メールサーバーアドレス	メール送信サーバーのアドレスを設定します。

項目	説明
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

日付＆時刻

システム — 管理 — 日付＆時刻画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
日、月、年	現在の日、月、年を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ － ﾋﾂﾞｹ
時、分、秒	現在の時、分、秒を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ － ﾋﾂﾞｹ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

セキュリティ

システム — 管理 — セキュリティ画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
セキュリティ有効	チェックするとプリンタのセキュリティ機能が有効になり、プリンタの設定を変更するためにパスワードが必要になります。 初期値：（チェックなし） 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ － ｾｷｭﾘﾃｨ － ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲ － ﾕｳｺｳ
パスワード設定	プリンタのパスワードを設定します。 範囲：半角 16 文字以下 初期値：SYSADMIN 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ － ｾｷｭﾘﾃｨ － ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲ － ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
確認用パスワード	確認用としてパスワード設定で設定したパスワードを再入力します。 範囲：半角 16 文字以下 初期値：(空白)
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

オンラインヘルプ

システム — 管理 — オンラインヘルプ画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
お問い合わせ名	プリンタに関するお問い合わせ先の名前を設定します。 範囲：半角 64 文字以下 初期値：KONICA MINOLTA Customer Support
お問い合わせ先情報	お問い合わせ先の電話番号を設定します。 範囲：半角 128 文字以下 初期値：http://printer.konicaminolta.com
プリンターヘルプ URL	製品情報が載っている Web サイトの URL を設定します。 範囲：半角 128 文字以下 初期値：http://printer.konicaminolta.com
コーポレート URL	KONICA MINOLTA の Web サイトの URL を設定します。 範囲：半角 128 文字以下 初期値：http://printer.konicaminolta.com/

項目	説明
消耗品及びアクセサリー	消耗品及びアクセサリーの注文先の URL を設定します。 範囲：半角 128 文字以下 初期値：http://www.q-shop.com/
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

システムページ印刷

システム — 管理 — システムページ印刷画面では、プリンタのシステムページを印刷できます。

項目	説明
システムページ印刷	システムページを印刷します。印刷したいページを選択し［適用］ボタンをクリックします。メッセージ画面が現れたら［OK］を選択してください。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝｻﾂ ［リセット］ボタンを押すと、選択した項目が解除されます。

設定ページ

システム — 管理 — 設定ページ画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
プリンター情報	基本的なプリンタの情報が表示されます。
オプション	プリンタのオプションとオプションの状態が表示されます。
プリンターインターフェース	プリンタのインターフェースの情報が表示されます。
用紙設定	プリンタの用紙設定が表示されます。

統計ページ

システム — 管理 — 統計ページ画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
消耗品の状態	各消耗品の状態が表示されます。
印刷枚数情報	用紙サイズごとの印刷枚数、用紙種類ごとの印刷枚数が表示されます。
基準換算情報	基準換算カウントの合計、基準換算カバレッジが表示されます。

ディスク操作

システム — 管理 — ディスク操作画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
なし	ディスク操作を行いません。
フラッシュフォーマット	プリンタのフラッシュメモリをクリアします。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ － ﾃﾞｨｽｸﾌｫｰﾏｯﾄ － ﾌﾗｯｼｭ ﾌｫｰﾏｯﾄ
HDD フォーマット	プリンタのハードディスクをフォーマットし、ディスク内のデータを消去します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ － ﾃﾞｨｽｸﾌｫｰﾏｯﾄ － ﾊｰﾄﾞ ﾃﾞｨｽｸ
印刷ジョブの取り込み	オプションのハードディスクに印刷ジョブを取り込みます。 設定値：オフ、オン、印刷 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ － ｷｬﾌﾟﾁｬｰｼﾞｮﾌﾞ この機能は、オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。

項目	説明
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

ジョブ画面

この画面では、現在処理されている印刷ジョブの状況を確認することができます。

ジョブリスト（上記画面）

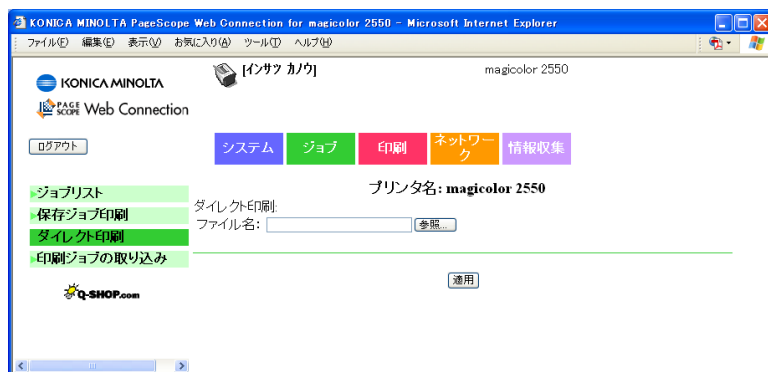
ジョブ — ジョブリスト画面では、印刷ジョブの情報を確認することができます。

項目	説明
ジョブ ID	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンタに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
状態	プリントジョブの現在の状況が表示されます。
所有者	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
タイトル	プリントジョブのジョブ名が表示されます。
インターフェイス	プリントジョブを取り込んだインターフェイスが表示されます。
ページ / シート	プリントジョブで印刷されるページ数が表示されます。

保存ジョブ印刷

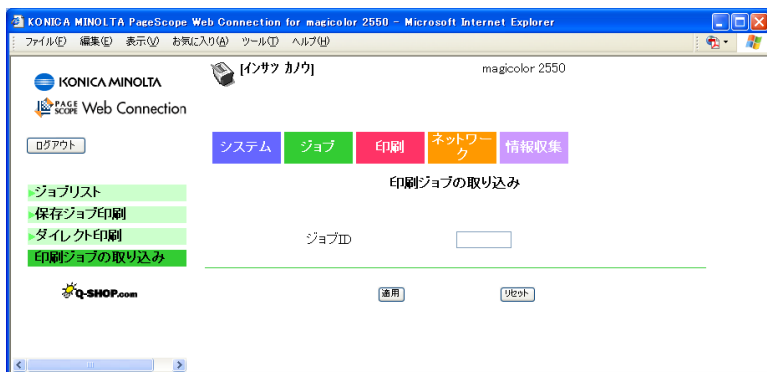
ジョブ — 保存ジョブ印刷画面では、保存ジョブの印刷ができます。

項目	説明
ジョブ ID	保存ジョブのジョブ ID が表示されます。
ジョブタイプ	保存ジョブのタイプが表示されます。
ジョブ	保存ジョブの名前が表示されます。
所有者	保存ジョブの所有者が表示されます。
コピー	保存された印刷ジョブの印刷枚数が表示されます。
PIN	機密印刷の場合、パスワードを入力します。
［送信］ボタン	クリックすると、選択した保存ジョブを印刷します。

ダイレクト印刷

ジョブ — ダイレクト印刷画面では、アプリケーションを起動せずに、直接プリンタからファイルを印刷できます。

ダイレクトプリントでは、PS、PSCL、PDF、TIFF、JPEG 形式のファイルを印刷できます。

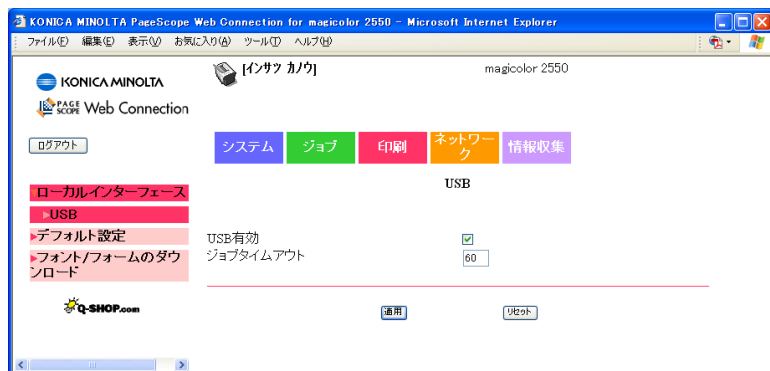
項目	説明
ファイル名	印刷するファイルの場所を指定します。
［参照］ボタン	クリックすると、印刷するファイルを参照するダイアログボックスを表示します。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。

印刷ジョブの取り込み

ジョブ — 印刷ジョブの取り込み画面では、ハードディスクに保存された印刷ジョブの取り込みを行うことができます。

この機能を使うためには、システム — 管理 — ディスク操作画面の「印刷ジョブの取り込み」が「オン」または「印刷」に設定されていなければなりません。

項目	説明
ジョブ ID	ジョブリストに表示されるジョブ ID を設定します。
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[リセット] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

印刷画面

印刷画面では、プリンタの設定に関するより詳細な情報を確認できます。

ローカルインターフェース

USB（上記画面）

印刷 — ローカルインターフェース — USB では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
USB 有効	USB ポートを利用するかどうかを設定します。選択しない場合、USB を通して印刷することができません。 初期値：（チェック済み） 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ － USB － ﾕｳｺｳ
ジョブタイムアウト	受信タイムアウト（秒）を設定します。 範囲：0 - 999 秒 初期値：60 秒 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ － USB － IO ﾀｲﾑｱｳﾄ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

デフォルト設定

一般

印刷 — デフォルト設定 — 一般画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
デフォルトエミュレーション	エミュレーションが識別できない印刷ジョブの場合は、デフォルトエミュレーションで設定されたエミュレーションが割り当てられます。 設定値：自動、ポストスクリプト、PCL5、PCL XL、ヘキサダンプ、PDF 初期値：自動 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ － ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ － ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾﾝﾀｸ
デフォルト自動判別	デフォルトエミュレーションで「自動」が選択された場合、プリンタは印刷ジョブに適したエミュレーションを割り当てます。プリンタが自動で割り当てができない場合、この設定のエミュレーションが割り当てられます。 設定値：PCL5、ポストスクリプト 初期値：PCL5 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ － ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ － ｼﾞﾄﾞｳ ｾﾝﾀｸ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

項目	説明
[カスタム保存] ボタン	現在の設定をカスタム設定として保存します。
[カスタム設定] ボタン	全ての設定をカスタム設定値に変更します。
[初期設定] ボタン	全ての設定を初期設定値に変更します。

ポストスクリプト

印刷 — デフォルト設定 — ポストスクリプト画面では、以下の項目を設定できます。

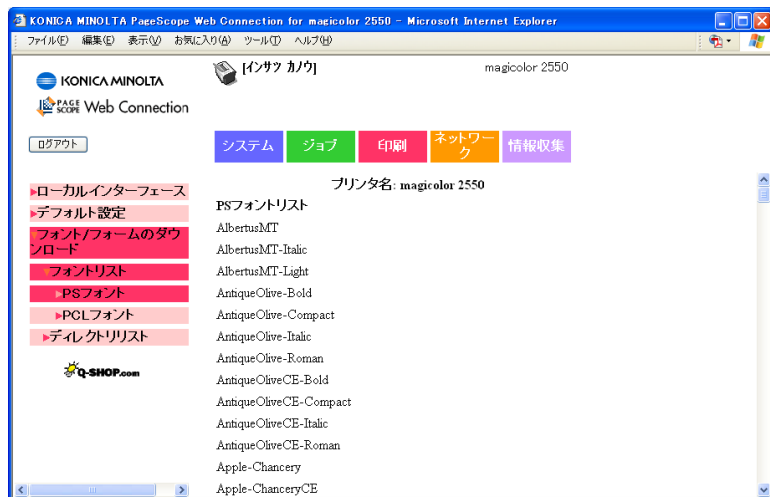
項目	説明
PS エラーページ	印刷できなかった場合やエラーが発生した場合に、エラーページを印刷するかどうか設定します。 設定値 : オン、オフ 初期値 : オン 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー : ｼｽﾃﾑ - ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ - ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ - ｴﾗｰ ﾚﾎﾟｰﾄ
PS プロトコルイーサネット	ポストスクリプトのジョブを受信するプロトコルを設定します。 設定値 : バイナリ、クオーテッドバイナリ 初期値 : バイナリ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー : ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ - ｲｰｻﾈｯﾄ - PS ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[リセット] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。
[カスタム保存] ボタン	現在の設定をカスタム設定として保存します。
[カスタム設定] ボタン	全ての設定をカスタム設定値に変更します。
[初期設定] ボタン	全ての設定を初期設定値に変更します。

PCL

印刷 — デフォルト設定 — PCL 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
改行指定	PCL 言語での改行コードの定義を設定します。 設定値：CR=CR LF=CRLF、CR=CR LF=LF、CR=CRLF LF=LF、CR=CRLF LF=CRLF 初期値：CR=CR LF=CRLF 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ － ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ － PCL － ｶｲｷﾞｮｳ ｼﾃｲ

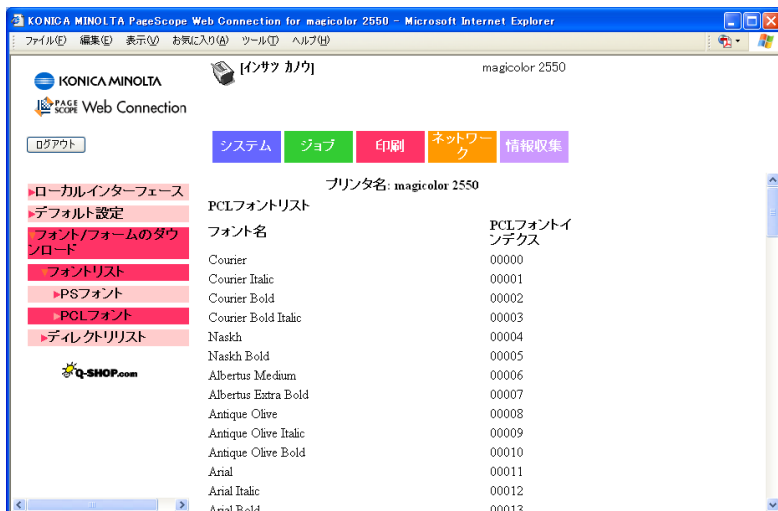
項目		説明
PCL フォント	ピッチサイズ	PCL 言語でのビットマップフォントサイズを設定します。 範囲：0.44 - 99.99 初期値：10.00 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ - ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ - PCL - ﾌｫﾝﾄ - ﾋﾟｯﾁ
	フォント番号	PCL 言語でのデフォルトのフォントを設定します。 範囲：0 - 32767 初期値：0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ - ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ - PCL - ﾌｫﾝﾄ - ﾊﾞﾝｺﾞｳ
	ポイント	PCL 言語でのアウトラインフォントサイズを設定します。 範囲：4.00 - 999.75 初期値：12.00 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ - ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ - PCL - ﾌｫﾝﾄ - ﾎﾟｲﾝﾄ
	シンボルセット	PCL 言語で使用するシンボルセットを設定します。 初期値：PC8 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ - ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ - PCL - ﾌｫﾝﾄ - ｼﾝﾎﾞﾙｾｯﾄ
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。
［カスタム保存］ボタン		現在の設定をカスタム設定として保存します。
［カスタム設定］ボタン		全ての設定をカスタム設定値に変更します。
［初期設定］ボタン		全ての設定を初期設定値に変更します。

フォント / フォームのダウンロード

フォントリスト

PS フォント

印刷 — フォント / フォームのダウンロード — フォントリスト — PS フォント画面では、プリンタにインストールされているポストスクリプトフォントリストが表示されます。

同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：

ｲﾝｻﾂ － ﾌｫﾝﾄ ﾘｽﾄ － ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ

フォントリスト

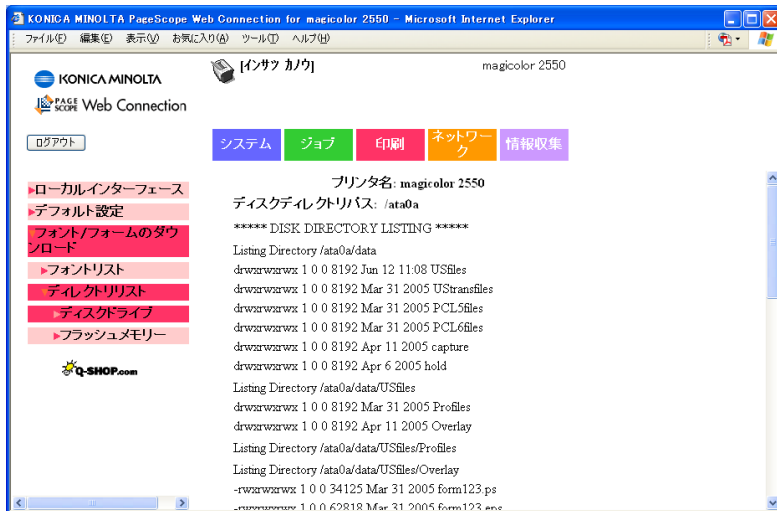
PCL フォント

印刷 — フォント / フォームのダウンロード — フォントリスト — PCL フォント画面では、プリンタにインストールされている PCL フォントリストが表示されます。

同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：

ｲﾝｻﾂ － ﾌｫﾝﾄ ﾘｽﾄ － PCL

ディレクトリリスト

ディスクドライブ

印刷 — フォント / フォームのダウンロード — ディレクトリリスト — ディスクドライブ画面では、プリンタのハードディスクにインストールされているファイルのリストが表示されます。

同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：

ｲﾝｻﾂ － HDD ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ ﾘｽﾄ

オプションのハードディスクを装着していない場合、ハードディスク未装着のメッセージが表示されます。

ディレクトリリスト

フラッシュメモリー

印刷 — フォント / フォームのダウンロード — ディレクトリリスト — フラッシュメモリー画面では、プリンタのフラッシュメモリーにインストールされているファイルのリストが表示されます。

同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：

ｲﾝｻﾂ － HDD ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ ﾘｽﾄ

ネットワーク画面

ネットワーク画面では、ネットワークの設定を行うことができます。これらのプロトコルの詳細については、第 6 章 “ ネットワーク印刷 ” を参照してください。

Ethernet

TCP/IP（上記画面）

ネットワーク — Ethernet — TCP/IP 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
TCP/IP 有効	TCP/IP を有効にするかどうかを設定します。 初期値：（チェック済み） 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ － ｲｰｻﾈｯﾄ － TCPIP － ﾕｳｺｳ
IP アドレス	プリンタの IP アドレスを設定します。 初期値：192.168.001.002 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ － ｲｰｻﾈｯﾄ － TCPIP － IP ｱﾄﾞﾚｽ

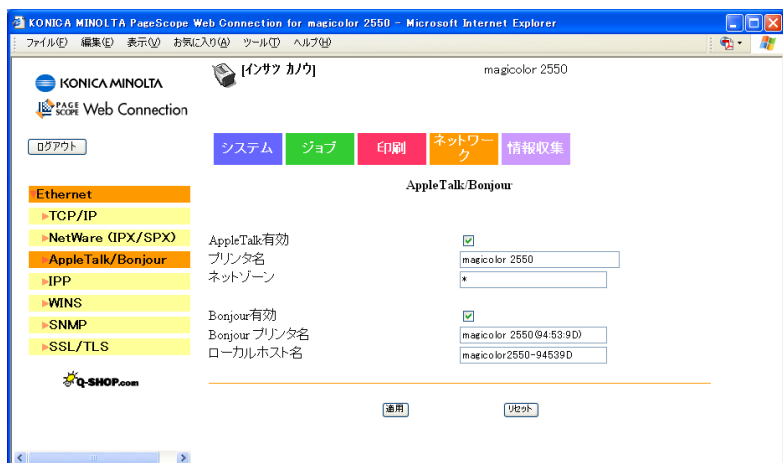
項目		説明
サブネットマスク		プリンタのサブネットマスクアドレスを設定します。 初期値：000.000.000.000 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ - ｲｰｻﾈｯﾄ - TCPIP - ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
ゲートウェイ		ゲートウェイを設定します。 初期値：000.000.000.000 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ - ｲｰｻﾈｯﾄ - TCPIP - ｹﾞｰﾄｳｪｲ
ホスト名		ホスト名を設定します。
ドメイン名		ドメイン名を設定します
DNS サーバ		DNS サーバのアドレスを設定します。最大 3 つまで登録できます。
自動 IP アドレス設定	DHCP 有効	DHCP を有効にするかどうかを設定します。 初期値：（チェック済み） 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ - ｲｰｻﾈｯﾄ - TCPIP - DHCP/BOOTP
	PING/ARP 有効	PING/ARP を有効にするかどうかを設定します。 初期値：（チェック済み）
	自動 IP 有効	DHCP/BOOTP、PING、ARP が機能していないかレスポンスがない場合に、IP アドレスの自動割り当てを有効にするかどうかを設定します。 初期値：（チェック無し） 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ - ｲｰｻﾈｯﾄ - TCPIP - ｼﾞﾄﾞｳ IP ﾕｳｺｳ
プロトコル	FTP 有効	FTP を有効にするかどうかを設定します。 初期値：（チェック済み）
	ポート 9100 有効	ポート 9100 を有効にするかどうかを設定します。 初期値：（チェック済み）
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

NetWare（IPX/SPX）

ネットワーク — Ethernet — NetWare（IPX/SPX）画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
NetWare 有効		NetWare を有効にするかどうかを設定します。 初期値：（チェック済み）
基本設定	フレームタイプ	フレームタイプを設定します。 設定値：自動、Ethernet 802.2、Ethernet 802.3、Ethernet II、SNAP 初期値：自動 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ - ｲｰｻﾈｯﾄ - IPX/SPX - ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ
	動作モード	動作モードを設定します。 設定値：プリントサーバー、リモートプリンター 初期値：プリントサーバー

項目		説明
プリントサーバー設定	プリントサーバー名	プリントサーバー名を設定します。 範囲：半角 64 文字以下 初期値：KMBTxxxxxx xxxxxx は MAC アドレスの後半 6 桁
	プリントサーバーパスワード	必要であれば、プリントサーバーパスワードを設定します。 範囲：半角 64 文字以下 初期値：（空白）
	有効パスワード	プリントサーバーパスワードに入力した新しいパスワードを確認します。 範囲：半角 64 文字以下 初期値：（空白）
	プリントサーバモード	プリントサーバモードを設定します。 設定値：バインダリ、NDS、両方 初期値：NDS
	優先ファイルサーバ	プリンタの優先ファイルサーバを設定します。 範囲：半角 47 文字以下 初期値：（空白）
	優先 NDS ツリー名	プリンタの優先 NDS ツリー名を設定します。 範囲：半角 48 文字以下 初期値：（空白）
	優先 NDS コンテキスト名	プリンタの優先 NDS コンテキスト名を設定します。 範囲：半角 191 文字以下 初期値：（空白）
	プリントキュー取得間隔	キュースキャン間隔を設定します。 範囲：1 - 65535 初期値；1
	プリンター番号	プリンタ番号を設定します。 範囲：0 - 254 初期値：1
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

AppleTalk/Bonjour

ネットワーク — Ethernet — AppleTalk/Bonjour 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
AppleTalk 有効	AppleTalk を有効にするかどうかを設定します。 初期値：（チェック済み）
プリンタ名	プリンタ名を設定します。 初期値：magicolor 2550 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ − ｲｰｻﾈｯﾄ − ETHERTALK − NAME
ネットゾーン	ゾーン名を設定します。 範囲：半角 32 文字以下 初期値：* 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ − ｲｰｻﾈｯﾄ − ETHERTALK − NETZONE
Bonjour 有効	Bonjour を有効にするかどうかを設定します。 初期値：（チェック済み）
Bonjour プリンタ名	プリンタ名を設定します。 初期値：magicolor 2550（xx：xx：xx） xxxxxx は MAC アドレスの後半 6 桁
ローカルホスト名	プリンタのローカルホスト名を設定します。 初期値：magicolor2550-xxxxxx xxxxxx は MAC アドレスの後半 6 桁

項目	説明
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

IPP

ネットワーク — Ethernet — IPP 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
IPP 有効	IPP を有効にするかどうかを設定します。 初期値：（チェック済み）
プリンタ名	プリンタ名を設定します。 範囲：半角 128 文字以下 初期値：KONICA MINOLTA magicolor 2550
プリンタの場所	プリンタの場所を設定します。 範囲：半角 128 文字以下 初期値：（空白）
IPP ジョブの受信	IPP ジョブの受信を有効にするかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
プリンタモデル名	プリンタモデル名が表示されます。
プリンタ URL	プリンタがサポートする URL が表示されます。

項目	説明
サポートする操作	プリンタがサポートする操作が表示されます。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

WINS

ネットワーク — Ethernet — WINS 画面では、以下の項目を設定できます。

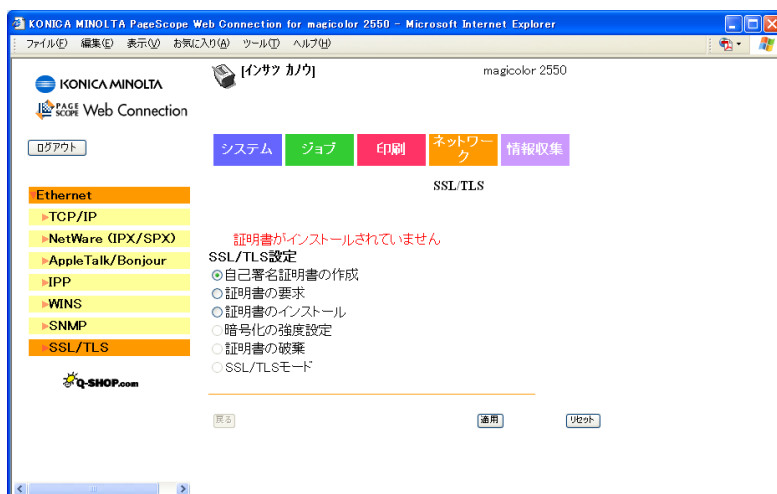
項目	説明
WINS 有効	WINS を有効にするかどうかを設定します。 初期値：（チェック済み）
ワークグループ名	ワークグループ名を設定します。 範囲：半角 15 文字以下 初期値：WORKGROUP
ホスト名	ホスト名を設定します。 範囲：半角 15 文字以下 初期値：KMBTxxxxxx xxxxxx は MAC アドレスの後半 6 桁
プリンタ名	プリンタ名を設定します。 範囲：半角 13 文字以下 初期値：MC2550
プリンタ記述	プリンタ記述を設定します。 範囲：半角 32 文字以下 初期値：Windows Printing Service
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

SNMP

ネットワーク — Ethernet — SNMP 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
SNMP 有効		SNMP を有効にするかどうかを設定します。 初期値：（チェック済み）
SNMP NMS1	コミュニティ	プリンタのコミュニティを設定します。 範囲：半角 32 文字以下 初期値：public
	アクセス	アクセスが表示されます。
SNMP NMS2	コミュニティ	プリンタのコミュニティを設定します。 範囲：半角 32 文字以下 初期値：private
	アクセス	アクセスが表示されます。
SNMP トラップ	トラップ有効	トラップを有効にするかどうかを設定します。 初期値：（チェックなし）
	コミュニティ	プリンタのコミュニティを設定します。 初期値：public
	トラップ IP アドレス	プリンタの IP アドレスを設定します。 初期値：255.255.255.255

項目	説明
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

SSL/TLS

ネットワーク — Ethernet — SSL/TLS 画面では、SSL/TLS の設定を行うことができます。

SSL/TLS は、デフォルトではインストールされていません。自己署名証明書の作成を選択し、［適用］ボタンをクリックすると、証明書を自己作成して SSL の設定を行うことができます。

項目	説明
自己署名証明書の作成	証明書を自己作成します。
証明書の要求	証明書発行を認証局に要求するためのデータを作成します。
証明書のインストール	認証局が発行した証明書をインストールします。
暗号化の強度設定	暗号化の強度を設定できます。 証明書がインストールされていない場合、この項目は選択できません。
証明書の破棄	証明書を破棄します。 証明書がインストールされていない場合、この項目は選択できません。
SSL/TLS モード	SSL/TLS で通信するモードを設定します。 証明書がインストールされていない場合、この項目は選択できません。

項目	説明
［戻る］ボタン	前の画面に戻ります。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

自己署名証明書の作成

ネットワーク — Ethernet — SSL/TLS — 自己署名証明書の作成画面では、証明書を自己発行して、SSL の設定を行うことができます。

項目	説明
国名	SSL 証明書の作成に使用するプリンタのコモンネームが表示されます。 この文字列は変更できません。
組織	組織名または団体名を設定します。 範囲：半角 64 文字以下 初期値：（空白）
組織ユニット	部署名を設定します。 範囲：半角 64 文字以下 初期値：（空白）
Locality	市町村名を設定します。 範囲：半角 128 文字以下 初期値：（空白）
国 / 州	県名または州名を設定します。 範囲：半角 128 文字以下 初期値：（空白）

項目	説明
国コード	国名を、ISO03166 で規定されている国コードで設定します。 範囲：半角 2 文字以下 初期値：（空白）
有効な開始日付	有効な開始日付を設定します。
有効期間	有効期間を設定します。 範囲：1- 3650 初期値：30
暗号化の強度	暗号化の強度を設定します。 設定値： ■ 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits ■ RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits ■ DES_56bits or RC4_40bits 初期値：3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits
［戻る］ボタン	前の画面に戻ります。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

証明書の要求

ネットワーク — Ethernet — SSL/TLS — 証明書の要求画面では、以下の項目を設定できます。

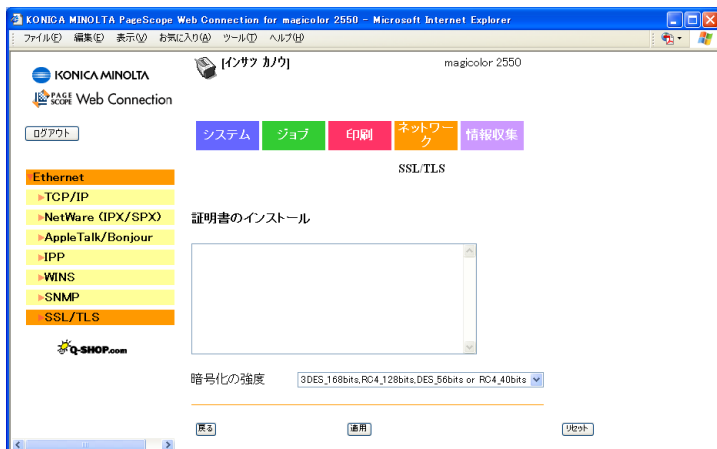
項目	説明
国名	SSL 証明書の作成に使用するプリンタのコモンネームが表示されます。 この文字列は変更できません。
組織	組織名または団体名を設定します。 範囲：半角 64 文字以下 初期値：（空白）
組織ユニット	部署名を設定します。 範囲：半角 64 文字以下 初期値：（空白）
Locality	市町村名を設定します。 範囲：半角 128 文字以下 初期値：（空白）
国 / 州	県名または州名を設定します。 範囲：半角 128 文字以下 初期値：（空白）
国コード	国名を、ISO03166 で規定されている国コードで設定します。 範囲：半角 2 文字以下 初期値：（空白）

項目	説明
［戻る］ボタン	前の画面に戻ります。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

証明書の要求データ

ネットワーク — Ethernet — SSL/TLS — 証明書の要求データ画面では、認証局に提出する証明書発行要求用のデータを表示します。

項目	説明
証明書の要求データ	認証機関に提出するためのデータを表示します。このデータは証明書署名要求と呼ばれ、ユーザから認証機関に提出されることになります。
［OK］ボタン	クリックすると、SSL/TLS 画面に戻ります。

証明書のインストール

ネットワーク — Ethernet — SSL/TLS — 証明書のインストール画面では、認証局から発行された証明書をインストールできます。

項目	説明
証明書のインストール	署名済みの証明書署名要求をこのテキストエリアに貼り付けます。
暗号化の強度	暗号化の強度を設定します。 設定値： ■ 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits ■ RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits ■ DES_56bits or RC4_40bits 初期値：3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits
［戻る］ボタン	前の画面に戻ります。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

暗号化の強度設定

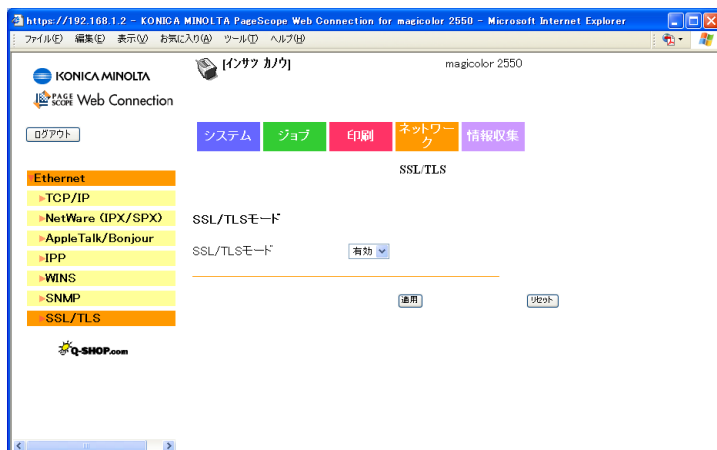
ネットワーク — Ethernet — SSL/TLS — 暗号化の強度設定画面では、暗号化の強度を設定できます。

項目	説明
暗号化の強度	暗号化の強度を設定します。 設定値： ■ 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits ■ RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits ■ DES_56bits or RC4_40bits 初期値：3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[リセット] ボタン	クリックすると、SSL/TLS 画面に戻ります。

証明書の破棄

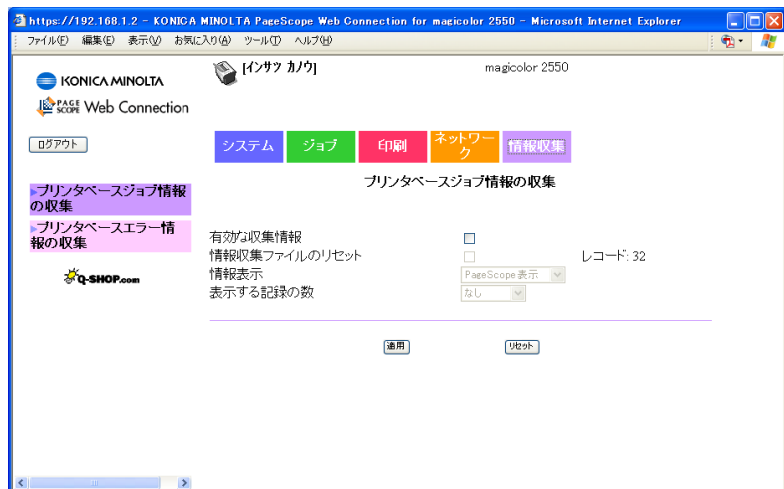
ネットワーク — Ethernet — SSL/TLS — 証明書の破棄画面では、インストールされている証明書を破棄できます。

項目	説明
[適用] ボタン	証明書を破棄します。
[リセット] ボタン	クリックすると、SSL/TLS 画面に戻ります。

SSL/TLS モード

ネットワーク — Ethernet — SSL/TLS — SSL/TLS モード画面では、SSL/TLS モードを設定できます。

項目	説明
SSL/TLS モード	SSL/TLS モードを設定します。 設定値 : 有効、無効 初期値 : 有効
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[リセット] ボタン	クリックすると、SSL/TLS 画面に戻ります。

情報収集画面

プリンタにオプションのハードディスクが装着されている場合、情報収集画面では、情報の表示や情報収集ファイルのリセットを行うことができます。

プリンタベースジョブ情報の収集（上記画面）

情報収集 — プリンタベースジョブ情報の収集画面では、印刷ジョブの詳細を確認することができます。

この項目は、オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

項目	説明
有効な収集情報	情報の収集を有効にするかどうかを設定します。 初期値：（チェック済み）
情報収集ファイルのリセット	情報収集したファイルをリセットするかどうかを設定します。 初期値：（チェックなし）
情報表示	どこに情報表示するかを設定します。 設定値：PageScope 表示、ホストへアップロード 初期値：PageScope 表示
表示する記録の数	表示する記録の数を設定します。 設定値：全て、なし、最後 10、最後 50、最後 100、最後 250、最後 500 初期値：なし

項目	説明
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

プリンタベースエラー情報の収集

情報収集 — プリンタベースエラー情報の収集画面では、エラー情報の詳細を確認することができます。

この項目は、オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

項目	説明
有効な収集情報	情報の収集を有効にするかどうかを設定します。 初期値：（チェック済み）
情報収集ファイルのリセット	情報収集したファイルをリセットするかどうかを設定します。 初期値：（チェックなし）
情報表示	どこに情報表示するかを設定します。 設定値：PageScope 表示、ホストへアップロード 初期値：PageScope 表示
表示する記録の数	表示する記録の数を設定します。 設定値：全て、なし、最後 10、最後 50、最後 100、最後 250、最後 500 初期値：なし
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

索引

A

AppleTalk......122

B

Bonjour......122
BOOTP......122

C

Crown プリントモニタ......102
CUPS......88, 90

D

DHCP......117, 123

E

ETHERTALK......112

H

HTTP......123

I

IPP......123
　印刷......32, 126
IPX/SPX......112
IP アドレス......111, 117
　手動設定......118

L

Linux
　PPD ファイルのインストール......87
　印刷設定......94
　動作環境......86
　トラブルシューティング......99
　プリンタドライバの設定......90
　プリンタの追加......88
　プリントジョブの確認......98

文書の印刷 94
LPD/LPR 123
印刷 32, 94

M

Mac OS 9
AppleTalk 接続 63
USB 接続 65
オプション設定 63
セレクタ 63
デスクトップ・プリンタ Utility 65
動作環境 60
トラブルシューティング 84
プリンタドライバの
インストール 61
プリント画面 71
プリントジョブの確認 83
Mac OS X
オプション設定 37
動作環境 20
トラブルシューティング 56
プリンタ設定ユーティリティの
設定 25
プリンタドライバの
インストール 21
プリント画面 42
プリントセンターの設定 25
ページ設定画面 39

N

NetWare 112

O

OpenOffice 87, 95

P

PageScope Web Connection 130
AppleTalk 178
Bonjour 178
Ethernet 174
E メール設定 149
IPP 180
NetWare 176
PCL 168
PCL フォント 171
PS フォント 170
SNMP 183
SSL/TLS 185
SSL/TLS モード 195
TCP/IP 174
USB 164
WINS 182
暗号化の強度設定 193
一般 165
印刷ジョブの取り込み 163
ウィンドウ 134
オペレーター設定 139
オンラインヘルプ 153
カラー調整及び品質 143
管理 146
管理者モード 136
言語切り替え 148
自己署名証明書の作成 187
システムページ印字 155
証明書のインストール 192
証明書の破棄 194
証明書の要求 189
証明書の要求データ 191
消耗品の状態 145
ジョブリスト 160
ステータス表示 135
セキュリティ 152
設定ページ 156
操作方法 134
ダイレクト印刷 162
ディスク操作 158
ディスクドライブ 172
ディレクトリリスト 172
デバイス情報 139
デフォルト設定 165
統計ページ 157
動作環境 130
トレイマッピング 142
日付＆時刻 151
表示言語 130
フォント / フォームの
ダウンロード 170
フォントリスト 170
フラッシュメモリー 173
プリンタステータスの表示 137

プリンタベースエラー情報の
収集 198
プリンタベースジョブ情報の
収集 196
ポストスクリプト 167
保存ジョブ印刷 161
ユーザモード 135
用紙設定 139
ローカルインターフェース 164
PostScript
エラー 49
PS プロトコル 113

S

SLP 124
SMB 125
SNMP 125

T

TCP/IP 111

W

Web ページ（プリンタ） 131
ブラウザ 131
プリンタ名 131

い

イーサネット接続 117
色分解 50, 79
印刷（PageScope Web Connection） 164
インストール
PPD ファイル 87
プリンタドライバ 21, 61

か

概要（PageScope Web Connection）
デバイスの状態 138
管理者モード（PageScope Web Connection） 136

く

グレースケール 50, 79

け

ゲートウェイ 111, 117
手動設定 118

さ

サブネットマスク 112, 117
手動設定 118

し

システム（PageScope Web Connection） 137
概要 138
情報収集（PageScope Web Connection） 196
ジョブ（PageScope Web Connection） 160

す

ステータス 137
スピード 113

せ

設定
ネットワーク 108

て

デバイスの状態（PageScope Web Connection） 138

と

動作環境
Linux 86
Mac OS 9 60
Mac OS X 20
トラブルシューティング
Linux 99
Mac OS 9 84
Mac OS X 56

ね

ネットワーク印刷 122
ネットワーク接続 116
DHCP 117
アドレス設定 118
イーサネット接続...................... 117
概念図.. 116
接続方法 117
ネットワーク設定 108
ネットワークメニュー 108
IP アドレス................................. 111
ゲートウェイ 111
サブネットマスク 112
設定項目 110
設定メニュー 108
表示 110
ネットワーク（PageScope Web Connection） 174

ふ

プリンタ設定ユーティリティ 25
AppleTalk.................................... 30
Bonjour 27
IP プリント設定.......................... 32
USB 接続 25
ネットワーク接続....................... 27
プリンタ名 131
プリント画面（Mac OS 9）.............. 71
カラーオプション...................... 79
カラーマッチング...................... 74
共通のボタン 73
作業記録処理 78
詳細設定 80, 81
バックグラウンドプリント 75
表紙 79
ファイルとして保存 76
フォント設定 76
プリンタの機能 81
レイアウト.................................. 77
プリント画面（Mac OS X）.............. 42
ColorSync メニュー..................... 48
一覧メニュー 55
印刷部数と印刷ページメニュー ... 44
エラー処理メニュー 49
カラーオプションメニュー 50
給紙メニュー...............................49
共通のボタン...............................43
詳細カラーオプションメニュー.....................51, 52, 53, 54
スケジューラメニュー 46
表紙メニュー...............................48
用紙処理メニュー 47
レイアウトメニュー.....................45
プリントジョブ
確認 83, 98
プリントセンター 25
プロトコル（ネットワーク）
BOOTP.......................................122
DHCP 123
HTTP..123
IPP 123
LPD/LPR 123
SLP 124
SNMP...125

へ

ページ設定画面................................39
カスタム用紙サイズメニュー 69
カスタム用紙サイズメニュー.......................................41
ページ属性メニュー...............40, 68

ほ

ポート 9100 124
印刷 32
ホストテーブル..............................131

ゆ

ユーザモード（PageScope Web Connection） 135

り

両面印刷 45, 76